猶思ひなれにしゆふくれのなかめに**うちそひて**　一二オ11
たゝいまはか〳〵しく**うちそふ**人もなくて 詞　三〇オ3

そ・へ（添）〔下二〕　〈源氏〉
さるは月日に**そへて**たへしのふへきこゝちもせす　六オ2
空のあはれにひころのをこたりを**とりそへて**　三オ10
なみたを**そふる**水くきのあと 歌　三ウ7

そま（袖）　〈曽丹集・日ポ〉
かゝる**よもきかそま**にくちはつへき契こそは 詞　三三オ6

そむ・け（背）〔四〕　〈源氏〉
かへに**そむける**ともしひのかけはかりを友として　一五オ4

そ・め（染）〔下二〕　〈源氏〉
いかにうつりいかに**そめける**こゝろにか　一ウ6

そ・め（初）〔下二〕　〈源氏〉
むめかえの**色つきそめし**はしめより　六オ10
うつゝ心もあらす**あくかれそめにけれ**は　一二オ5

そら（空）　〈源氏〉
れいの人しれすなかみちちかき**そら**にたに　三ウ8
つこもり比の月なき**空**にあまくもさへたちかさなりて　七ウ4
たゝいまの**空のあはれ**にひころのをこたりをとりそへ　三オ9
ふりみふらすみさためなきころの**空のけしき**は　二オ6
暮はつる**空のけしき**も日ころにこえて心ほそくかなし　三ウ6

そらおそろ・し（空恐）〔形〕　〈源氏〉
かくても人にやみつけられんと**そらおそろしけれ**は　七ウ7

それ（其）　〈源氏〉
それとはかりも見をくりきこゆるはいとうれしくも　一三オ11
かすみに**それとたに**見えすへたゝり行も　一六オ11
それかとみゆるくさ木もなし　一八オ8

た

た・え（絶）〔下二〕　〈源氏〉
たえてほとふるおほつかなさの　二オ8
みちのくのつほのいしふみ**かきたえて** 歌　二ウ11
さすかに**たえぬ**夢の心ちは…　二オ3
せきのし水も**たえぬ**なみたとのみ思ひなされて　一六オ7
わかれに**たえぬ**なみたとそみる 歌　一六オ9
よひあか月のあかをと**たえす***　一〇ウ5
→**とだえ**（二例）

たえは・て（絶果）〔下二〕　〈源氏〉
心ならすも夢のかよひち**たえ果ぬへし**　一九オ7

たかね（高嶺）　〈万葉・日ポ〉
ひらのたかねやひえの山なとに侍る 詞　三ウ5

たが・ひ（違）〔四〕　〈源氏〉
人の御さまそ**ことたかひて**おはしけれ 詞　五オ8
いひしに**たかふ**つらさはしも　四オ9

たが・へ（違）〔下二〕　〈源氏〉
ちきり**たかへぬ**しるへはかりにて　三ウ9

た・くる（闌）〔下二〕　〈源氏〉
日たくるまゝにあめゆゝしく**はれて**　三ウ3

たけ（丈）　〈源氏〉
…と思ひけつ**こゝろのたけ**そものおそろしかりける　一九ウ2

たけ（竹）　→くれたけ（二例）

た・し〔助動〕　〈栄花・大文典〉
つれなきよのあはれさもみつからきこえあはせ**たく**図　四ウ3

たすけあつか・は（助扱）〔四〕
さま〳〵に**たすけあつかはるゝ**ほと　一〇オ7

た・た（絶）〔四〕　〈源氏〉
よひあか月のあかをと**たゝす**　一〇ウ5

ただ（唯）〔副〕　〈源氏〉
たゝいひしらぬなみたのみむせかへりたる　三ウ11
たゝそのおりの心ちして　五ウ9
たゝうちおもふ事をかきつくれと　七オ8
たゝおもふことありて図　九ウ7
たゝすこしうちなひきたるさへそゝろにうらめしき　一三オ11
ふしの山は**たゝ**こゝもとにとそみゆる　一九オ11
たゝ一すちになきになしはてつる身なれは　八ウ4
はしも**たゝひとつ**そみゆる　一八オ6
たゝしやうし**ひとへ**をへたてたる居ところなれは　六ウ10
れいのつまとをしあけて**たゝひとり**みいたしたる　一オ5
山ちを**たゝひとり**行こゝちいといたくあやうく　八オ4
たゝひとりうちふしたれとゝけてしもねられす　一三ウ8
たゝあよみにあゆみよりて　九オ9
ゆき**たゝふりにふりくる**に　三オ1

ただいま（唯今）〔副〕　〈源氏〉
たゝいまはか〳〵しくうちそふ人もなくて図　三〇オ3
おしからぬ命も**たゝ今そ**心ほそくかなしき　八ウ11
たゝいまになりては心ほそきことのみおほかれと　一六オ2
たゝいまの空のあはれにひころのをこたりをとりそへ　三オ9
たゝいまのいのちをかきる心ちして　四オ2
人しれすなみをわけし事なと**只いまの**やうにおほえて　一三オ8
たゝ今もいてぬへきこゝちして　七ウ2

たた・く（叩）〔四〕　〈源氏〉
しのひやかに**うちたゝく**をきゝつけたるには　五オ3

たち（達）〔接尾〕　〈源氏〉
をこなひなれたるあまきみ**たち**の　一〇ウ4

た・ち（立）〔四〕　〈源氏〉
おりしもさきに**たちたる**くるまあり　一三オ6
まつかきくらす涙のみさきに**たちて**心ほそく　一六オ4
この川に水の**出たちし**世　一三オ7
→**おもひたち**（五例）
松の**こたち**なと　一八ウ3
いとゝわすれられぬるにやとみにも**たゝれす**　三オ1
ものさはかしくなりけれはみさすやうにて**たつ**程　三オ3
にはかに**いそきたつ**　三〇オ1
まとの**しとみたつ**ものもおろさす　一四オ6

たちかく・るる（立隠）〔下二〕　〈源氏〉
すいかいのおれのこりたるひまに**たちかくるゝ**も　五オ6

たちかさな・り（立重）〔四〕　〈増鏡〉〈源氏〉
月なき空にあまくもさへ**たちかさなり**て　七ウ4
たちかへ・り（立帰）〔四〕　〈源氏〉
又**たちかへらん**事もかたけれは　三〇オ9
又ふるさとに**たちかへる**にも　一四ウ8
たちど（立処）　〈源氏〉
外なるともし火のひかりなれは筆の**たちと**も見えす　七オ10
たちはな・れ（立離）〔下二〕　〈源氏〉
たちはなれなんはさすかに心ほそくて　三〇ウ1
たちま・ふ（立舞）〔四〕　〈源氏〉
日ころふりつるあめのなこりに**たちまふ**雲間の　一三オ2
たちやすら・ひ（立休）〔四〕　〈源氏〉
かきくれぬれは閑屋ちかく**たちやすらひたる**に　三一オ2
たちよ・る（立寄）〔四〕　〈源氏〉
立よる人の御おもかけはしも　五オ9
たちわか・れ（立別）〔下二〕　〈源氏〉
すみわひて**たちわかれぬる**ふるさとも歌　一六ウ4
たづ・ね（尋）〔下二〕　〈源氏〉
このやまのおくに**たつぬへき**ことありて詞　九ウ8
しきりに身のありさまを**たつぬれ**は　九ウ6
いつくにかと**たつぬれ**は　三一ウ5
たづねし・る（尋知）〔四〕　〈源氏〉
みやこ人さへおもひのほかに**たつねしる**たよりありて一〇オ11
た・て（立）〔下二〕　〈源氏〉
つまとは**引たてつれ**と　一三オ4
しほかまとものおもひ〳〵に**ゆかみたてたる**すかた…一七ウ10
たどたど・しき〔形〕　〈源氏〉
たと〳〵しきゆふやみにちきりたかへぬしるへはかり　三ウ8
たと・へ（譬）〔下二〕　〈源氏〉
心ほそさそなにゝ**たとへて**もあかすかなしける　二オ10
かなしきことそなにゝ**たとふへし**ともおほえぬ　一六オ5
たど・り（辿）〔四〕　〈源氏〉
いたくも**たどらす**なりにしや　一ウ3
くらきよりくらきに**たどらむ**なかき夜のまとひを　一一オ9
夢ちを**たどる**やうにて日かすふるまゝに　一六ウ9
だに〔副助〕　〈源氏〉
いける心ち**たに**せねは　二オ1
まつならぬ木すゑ**たに**そゝろにはつかしくみまはされ一四ウ9
さそふ水**たに**あらはと朝夕のこと草になりぬるを詞　一五オ7
ゆめ**たに**ゆるせおきつしらなみ歌　一九オ10
かたはらなる人うちみしろき**たに**せす　七ウ9
かく**と、たに**聞えさせほしけれと　一三オ4
身をはやきせのそこ**と、たに**しらすまよはん歌　七オ11
かすみにそれ**と、たに**見えすへたゝり行も　一六オ11
ふし柴の**と、たに**おもひしらさりける　一ウ8
身をかへたるとおもひなして**と、たに**うきをわするゝ　一五ウ7
人しれすなかみちちかきそらに**、たに**たと〳〵しき…　三ウ8
せきもりのうちぬる程を**、たに**いたくもたとらすなり…　一ウ2

かへらんほとを**たに**しらぬ心もとなさに　一七ウ1
けふりののちのくもを**たに**よもなかめしな歌　二二ウ8
まちなれしふるさとを**たに**とはさりし歌　一四ウ4

たの・み（頼）〔四〕　〈源氏〉
人しれす**たのみ**をかくるも　四ウ5
のちのおやとかの**たのむへき**ことはりもあさからぬ…一五オ8

たの・むる（頼）〔下二〕　〈源氏〉
をのつから**たの****むる**宵**はありしにもあらす　一ウ10

たのも・しき（頼）〔形〕　〈源氏〉
すくれて**たのもしき**心ちして　二ウ3
つとてに持たるはかりそ**たのもしき**ともなりける　一四オ2
…とおもふにはつかしくも**たのもしく**もなりぬ　六オ2

たのもしびと（頼人）　〈源氏〉
なかみちにれいの**たのもし人**にてすへりいてぬるも　四オ4
松かせのあら〳〵しきを**たのもし人**にて　九オ5

たび（旅）　〈源氏〉
われなからさためなく**たひ**のほとも思ひしられされと三〇ウ9

たび（度）　〈源氏〉
いま**一たひ**それとはかりも見をくりきこゆるは　一三オ11
→**このたび**（二例）

たびごろも（旅衣）　〈源氏〉
ふるさともきてはくやしき**旅ころも**かな歌　一六ウ5

たびたび（度々）〔副〕　〈源氏〉
したを**たひ〳〵**ならしてあないとおし〳〵と…いふそ　九ウ4

たびね（旅寝）　〈源氏〉
こゝろからかゝる**たひね**になけくとも歌　一九オ9

たふれい・り（倒入）〔四〕　〈源氏〉
あるひは水に**たふれいり**なとするにも　一七オ8

た・へ（堪）〔下二〕　〈源氏〉
さても猶うきに**たへたる**いのちのかきりありけれは　一四ウ6

たへがた・き（堪難）〔形〕　〈源氏〉
くるしく**たへかたき**ことしぬはかりなり　八ウ6

たへしの・ぶ（堪忍）〔四〕　〈百座法談・日ポ〉
さるは月にそへて**たへしのふへき**こゝちもせす　六オ3
いかにして**たへしのふへく**もあらす　一三ウ5

たま・ひ（給）〔補動四〕　〈源氏〉
きたのかた月ころ**わつらひ給ける**かつゐに**きえはて**
給にけれは　四オ7・7
日かすふるいふせさをかれ〳〵そ**おとろかし給つる**　四ウ2
仏なとの**見え給つる**にや語　六オ1
またくちろんなとを**し給たりける**にか語　九オ11
なにゆへ…この山なかへは**いて給ぬる**そ語　九ウ2
おなしくそのあたりまて**みち引たまひてん**や語　一〇オ1
御まへは人のてを**にけいて給**か語　九オ11
つゐにこなたかなたへ**ゆきわかれ給**ほと　一三ウ3
時雨しぬへしはや**かへり給へ**語　二ウ6
こゝに**ふし給へ**語　六ウ5
ゐ中のすまゐもみつゝ**なくさみ給へ**かし語　一五ウ2

ためし（例）
さま〳〵よのためしにもなりぬへく　〈源氏〉　一二オ6
たゆたに〔副〕　〈古今〉
ゆたのたゆたにものをのみおもひくちにしはては　一二オ4
たより（便）　〈源氏〉
おもひのほかにたつねしるたよりありて　一〇オ11
をのつからこゝろの行たよりもや鬫　一一ウ3
おもひかけぬたよりにて　一三オ2
うき世の夢もをのつから思ひさますたよりなりける　一四オ4
うきをわするゝたよりもや鬫　一五ウ7
た・ら（足）〔四〕　〈源氏〉
思ふにもいふにもたらす　九オ3
た・り〔助動〕　〈源氏〉
身のぬれとをりたること伊勢のあまにもこえたり　九オ4
かしかましくおそろしきまてののしりあひたり　一七オ3
まへにはおほきなる川のとかになかれたり　一八ウ11
かひのしらねにもいとしろく見わたされたり　一九ウ4
とりわきたりける御思ひのなこりもいとくるしく　四オ10
よひには雲かくれたりつる月の　五ウ6
またくちろんなとをし給たりけるにか鬫　九オ11
いたつらものにてふしたりしを　一〇オ10
この川に水の出たり*し世　一二オ7
たれはかりにかとめとゝめたり*けれは　一三オ7
あめふりいてたりしそかし鬫　二一オ9
つまとをしあけてたゝひとりみいたしたるあれたる　一オ6・6
庭の秋の露
かねのひゝきをつく〳〵ときゝふしたるも　二オ1
帰てもいとくるしけれはうちやすみたるほと　三オ8
御ふみとてとりいれたるも　三オ8
こまやかにかきなされたるすみつき筆のなかれも　三オ11
たゝいひしらぬなみたのみむせかへりたるあか月　四オ1
うきたる身のとかもかうまては思ひしらすそ…鬫　四ウ8
さすかめもあはすみしろきふしたるに　五オ2
しのひやかにうちたゝくをきゝつけたるには　五オ3
すいかいのおれのこりたるひまにたちかくるゝも　五オ6
御おもかけさへさしむかひたる心ちするに　五ウ11
たゝしやうしひとへをへたてたる居ところなれは　六ウ11
そきおとしたるかみをおしつゝみたるみちの国かみ
の　七オ7・8
打こはつくろふもむつかしときゝゐたるに　七ウ6
あやしくものくるをしきすかたしたるも　八オ6
身のぬれとをりたること伊勢のあまにもこえたり　九オ4
しぬへき心地さへすれはこゝによりゐたる也鬫　九ウ11
をこなひなれたるあまきみたちの　一〇ウ4
ほそき川のなかれたる水のまさるにや　一二オ5
あれたる庭に　一二オ11
くれ竹のたゝすこしうちなひきたるさへ　一二オ11
おとろかしきこえたるにも　一三ウ5

なをさりにかきすてられ**たる**もいと心うくて　二ウ7
さきにたち**たる**くるまありつとてに持**たる**はかりそたのもしきともなりける　一三オ6
つく〳〵となかめいて**たる**に　一四オ2
ねにまよひ**たる**こゝちするにも　一四オ7
さても猶うきにたへ**たる**いのちのかきりありけれは　一四ウ2
やう〳〵心ちもをこたりさまになり**たる**を　一四ウ6
あらぬすまゐに身をかへ**たる**と詞　一四ウ7
おもひ〳〵にゆかみたて**たる**すかたとも　一五ウ6
みやこのともにもうちくし**たる**身ならましかは詞　一七ウ10
あたりのくさもみなかれ**たる**ころなれはにや　一八オ1
のとかなるみつうみのをちい**たる**けちめに　一八オ8
はる〳〵とおひつゝき**たる**松のこたちなと　一八ウ3
やまひになりてかきりになり**たる**よしを　一八ウ8
とりのあとのやうにかきつゝけておこせ**たる**を　一九ウ9
関屋ちかくたちやすらひ**たる**に　二オ2
なにをかなとゝめんと見出し**たる**けしきも　二オ4
こゝもかしこも猶あれまさり**たる**心ちして　二ウ10
ところ〳〵もりぬれ**たる**さまなと　二ウ11
むねうちさはきてひきひろけ**たれ**は　三オ9
やをらはしをあけ**たれ**は　七ウ3
かのところに行つき**たれ**は　一三ウ4
たゝひとりうちふし**たれ**とゝけてしもねられす　一三ウ9
くれはつるほとにゆきつき**たれ**は　二ウ9

たれ（誰）
たれをよな〳〵恋わたりけん歌　〈源氏〉一オ3
たれはかりにかとめとゝめかたけれは詞　一三オ7
うき身を**たれはかり**かうまてしたはむ詞　三オ3

ち

ぢ（道・路）
波あらきしほの**海路**　〈源氏〉一八ウ2
夢の**通ひ**　一ウ3・一九オ7
さすかならはぬひなの**なかち**に　一六ウ10
→**やまぢ**（四例）
夢ちをたとるやうにて　一六ウ9

ちか・き（近）〔形〕　〈源氏〉
れいの人しれすなかみち**ちかき**そらにたに　三ウ8
まくらに**ちかき**かねのをとも　四オ1
山のは**ちかき**ひかりのほのかにみゆるは　五ウ7
をたきの**ちかき**所にて　一三オ3
ねや**ちかき**きり〳〵すのこゑ　一五オ2
みやこは**ちかき**心のみはかりにて　二ウ1
かと**ちかく**ほそき川のなかれたる　二オ5
関屋**ちかく**たちやすらひたるに　二オ2
けちかくとふへき人もなけれは　一六ウ7
うみいと**ちかけれは**みなとのなみこゝもとにきこえて　一八ウ11

ちかづ・く（近付）〔四〕　〈源氏〉

あらしの山のふもとに**ちかつく**程　八ウ7

ちかのしほがま（千賀塩竈）　〈枕〉

ちかのしほかまもいとかひなき心ちして歌　二ウ9

ちぎ・り（契）〔四〕　〈源氏〉

人しれす**ちきりし**なかのことの葉を歌　三オ4

あさましくはかなかりける**契り**の程を詞　一オ10

ちきりたかへぬしるへはかりにて　三ウ9

かゝよもきかそまにくちはつへき**契**こそは詞　三三オ6

ちどり（千鳥）　〈源氏〉

はま千とりむら〳〵にとひわたりて　一七ウ9

ちひさ・き（小）〔形〕　〈源氏〉

かの**ちいさき**わらはにやしのひやかにうちたゝくを　五オ2

人見わくへくもあらす**ちいさく**かきつくれと　三〇ウ2

ちり・くる（散来）〔カ変〕　〈古今〉

おり〳〵に**ちりくる**ことの葉もありしにこそ　二ウ5

つ

つ〔格助〕　〈源氏〉

ゆめたにゆるせおき**つ**しらなみ歌　一九オ10

月のすゑ**つ**かたにもなりぬ　一九ウ4

とをつあふみとかやきくもはるけき道をわけて　一五オ9

つ〔助動〕　〈源氏〉

→**てむ**（三例）

露のいのちをもかけてけふまてもなからへ**てける**を　二ウ7

日かすふるいふせさをかれ〳〵そおとろかし給**つる**　四ウ2

かしこくおもひしつめ**づる***こゝろも　五オ4

よひには雲かくれたり**つる**月の　五ウ6

仏なとの見え給**つる**にや詞　六オ1

ひるよりよういし**つる**はさみはこのふたなとの　七オ1

かきをき**つる**文なともとりくしてをかんと詞　七オ4

いて**つる**しやうし口より　七オ5

よなかよりふりいて**つる**あめの　八オ9

たゝ一すちになきになしはて**つる**身なれは　八ウ4

いまとちめはて**つる**いのちなれは　九オ3

日ころふり**つる**あめのなこりに　二オ2

かねてきゝ**つる**よりもあやしくはかなけなる所の　二ウ4

過き**つる**日かすのほとなさに　二七ウ1

心ほそかり**つる**おもひにやまひになりて　二九ウ7

つねにより居**つる**はしらのあら〳〵しきか　三〇オ11

なつかしからさり**つる**もたちはなれなんはさすかに　三〇ウ1

夜ふかくいて**つれ**と詞　九ウ9

つまとは引たて**つれ**と　二三オ5

ついで（序）　〈源氏〉

手ならひのほんこなとやりかへす**つゐて**に　六オ9

をのつからことの**つゐて**に図　二三ウ4

物かたりなとする**つゐて**に　二五ウ1

さるへき**つゐて**もなくてみつからきこえさせす図　三三ウ6

づから〔接尾〕　〈源氏〉

心つからのなやましさもうれへきこえんとにやあらむ　二ウ4
　→**おのづから**（六例）
　→**みづから**（二例）

つき　〈源氏〉
月もいみしくあかけれは　五オ5
よひには雲かくれたりつる**月**のうきくもまかはす…　五ウ6
ひかりのほのかにみゆるは七日の**月**なりけり　五ウ8
つこもり比の**月**なき空に　七ウ3
すてゝいてしもしのみやまの**月**ならて歌　二オ2
まつかきくらす涙に**月のかけ**も見えす　五ウ11
よのともとならひにける**月のひかり**まちいてぬれは　一オ4
うつきにもなりぬ　一四オ5
神な月　二オ5・一五ウ9
かくて**しも月**のすゑつかたにもなりぬ　一九ウ4
そゝろにつもりけむ**とし月**のつみも　一〇ウ6

つ・き（付・着）〔四〕　〈源氏〉
…とことはりに思ひたちぬる心の**つきぬる**そ　六オ5
木の葉のかけに**つきて**…山ちをたゝひとり行こゝち　八オ3
やう〳〵**色つきぬ**　一ウ9
むめかえの**色つきそめし**はしめより　六オ10
みわたさるゝほとの道なれはさはりなく**行つきぬ**　八オ11
行つきたれは　一三ウ4・二ウ9
おちつきところのさまをみれは　一八ウ4
こまやかにかきなされたる**すみつき**筆のなかれも　三オ11
あらしの山のふもとに**ちかつく**程　八ウ7

つきかげ（月影）　〈源氏〉
なかむるかとにおもかけそみし**月かけ**は　一〇ウ10
まとかなる**月かけ**に　一四オ8
かりのいほにこゝろほそくもやとる**月かけ**歌　一四オ11

つきくさ（月草）　〈源氏〉
つき草のあたなる色をかねてしらぬにしもあらさりし　一ウ5

つきごろ（月比）　〈源氏〉
きたのかた**月ころ**わつらひ給けるか　四オ6

つきせ・ず（尽）〔連〕　〈源氏〉
つきせす夢のこゝちするにも　三ウ10
つきせぬ涙のしつくはまとうつあめよりもなり　一五オ5

つきひ　〈源氏〉
月日にそへてたへしのふへきこゝちもせす　六オ2

つく・し（尽）〔四〕　〈源氏〉
心つくしなることのみまされは　六オ3

つくづくと〔副〕　〈源氏〉
かねのひゝきを**つくつくと**きゝふしたるも　二オ1
この御文を**つくつくと**みるにも語　三ウ3
つくつくとなかめいてたるに　一四オ7
かくて**つくつくと**おはせんよりは語　一五ウ1
つくつくととしかたをみれは　一七オ5
つくつくとかゝるよもきかそまにくちはつへき契…　三オ6

つくよ（月夜）　〈源氏〉

雲間の**ゆふつく夜**のかけほのかなるに　〈源氏〉　一三オ3

つくろ・ふ（作・繕）〔四〕

とのゐ人さへ折しも**打こはつくろふ**もむつかしと　〈源氏〉　七ウ6

つ・け（付）〔下二〕

こゝかしこにせぬれいのをとなとをきくに**つけて**も　〈源氏〉　一〇ウ6

しのひやかにうちたゝくを**きゝつけたる**には　五オ3

かくても人にや**みつけられん**歌　七ウ7

ほとなく**をくりつけて**かへりぬ　一〇オ4

→**うちつけに**（二例）

→**かきつくる・かきつくれと**（二例）→かきつけ

つごもり（晦）　〈源氏〉　七ウ3

つこもり比の月なき空に

つた（蔦）　〈源氏〉　二ウ10

松にかゝれる**つた**の心の色も

つつ〔接助〕　〈源氏〉　七オ11

なけき**つゝ**身をはやきせのそことたに歌　一五ウ2

ゐ中のすまゐもみ**つゝ**なくさみ給へかし歌

つづ・き（続）〔四〕　〈源氏〉　三ウ2

ことの葉の**つゝき**も見えすなりぬれは　一八ウ3

はる〳〵と**おひつゝきたる**松のこたちなと

つづ・け（続）〔下二〕　〈源氏〉　一九ウ9

とりのあとのやうに**かきつゝけて**おこせたるをみるに

→**おもひつづけ・おもひつづくる**（七例）

つつま・し（慎）〔形〕　〈源氏〉　三〇ウ3

めはやき山かつもやと**つゝましなから**　〈源氏〉　四オ7

つつ・み（包）〔四〕

そきおとしたるかみを**おしつゝみたる**みちの国かみの　〈源氏〉　七オ8

つと〔副〕

きやう**つと**てに持たるはかりそたのもしきともなり…　〈源氏〉　一四オ2

つね（常）

よのつねならすあたなる身のゆくゑ歌　四ウ5

つねよりもめとゝまりぬらんかし歌　六ウ3

つねよりもをとするこゝちするにも　一三オ6

つねに（常）〔副〕　〈源氏〉　三〇オ11

つねにより居つるはしらのあら〳〵しきか

つひに（終）〔副〕　〈源氏〉　四オ7

月ころわつらひ給けるか**つゐに**きえはて給にけれは　四ウ6

身のゆくゑ**つゐに**いかになりはてんとすらん歌　一三ウ2

つゐにこなたかなたへゆきわかれ給ほと

つぼのいしぶみ（壺碑）　〈山家〉　一一ウ11

みちのくの**つぼのいしふみ**かきたえて歌

つま（妻）　〈源氏〉　一八オ10

つましあれはにや歌

つま（端）　〈源氏〉　一オ7

物ことに心をいたましむる**つま**となりけれは　二ウ9

かうらんの**つま**なるいはのうへにおりゐて　三ウ1

そゝろにうらめしき**つま**となるにや

つまど（妻戸）　〈源氏〉

れいの**つまと**をしあけて　一オ5
つまとは引たてつれと　三オ4

つみ（罪）　〈源氏〉
そゝろにつもりけむとし月の**つみ**も　一〇ウ6

つも・り（積）〔四〕　〈源氏〉
何となく**つもりにける**手ならひのほんこなと　六オ8
聞えかはしけることの**つもりにける**ほとも　六ウ1
そゝろに**つもりけむ**とし月のつみも　一〇ウ6

つゆ　〈源氏〉
あれたる庭の**秋の露**　一オ6
おきわかれにし**袖の露**　四オ3
をく露のいのちまつまのかりのいほに　一四オ10

つゆ〔副〕　〈源氏〉
露まとろまれぬにやをらおきいてゝみるに　五ウ5

つゆのいのち（露命）　〈後撰〉
露**のいのち**をもかけてけふまてもなからへてけるを　一一ウ6
露**のいのち**の庭のあさちふ　一四ウ11

つゆばかり（露許）〔副〕　〈源氏〉
すへてこゝちもうせて**露はかり**おきもあかられす　一〇オ9

つら・き（辛）〔形〕　〈源氏〉
うき世の人の**つらき**いつはりにさへなひはてにける　一一ウ7

つらさ（辛）　〈源氏〉
日比の**つらさ**はみなわすられぬるも　三ウ4
これやさはとふに**つらさ**のかす〳〵に　三ウ6
いひしにたかふ**つらさ**はしも　四オ9

つれな・き〔形〕　〈源氏〉
つれなきよのあはれさも　四ウ3
こよひは**つれなくて**やみなまし　四ウ10

て

て（手）　〈源氏〉
ほとなく**手**にさはるもいとうれしくて　七オ1
あな心う御まへは人の**て**をにけいて給か　九オ10
手をひかへてみちひくなさけのふかさそ　一〇オ2
つと**て**に持たるはかりそたのもしきともなりける　一四オ2

て〔接助〕　〈源氏〉
れいのつまとをしあけ**て**　一オ5
心に乱れおつるなみたををさへ**て**　一オ8
いとゝ袖のいとまなき心ちし**て**　二オ7
たえ**て**ほとふるおほつかなさの　二オ8
すくれてたのもしき心ちし**て**　二ウ3
このころそさかりと見え**て**いとおもしろけれは　二ウ8
いはのうへにおりゐ**て**山のかたをみやれは　二ウ9
木々の紅葉色々に見え**て**　二ウ10
心の色もほかにはなる心地し**て**　二ウ11
おりしも風さへ吹**て**ものさはかしくなりけれは　三オ2
むねうちさはき**て**ひきひろけたれは　三オ9
ひころのをこたりをとりそへ**て**　三オ10

なこりもいと心ほそくて詞　三ウ3
…とまたうちをかれて　三ウ5
たゝいまのいのちをかきる心ちして　四オ2
いとゝかこちかましくて　四オ3
なか〳〵きこえんかたなくて日かすふるいふせさを　四ウ1
こよひはつれなくてやみなまし詞　四ウ11
いとはしたなきこゝちして　五オ6
御さまそことたかひておはしけれ詞　五オ8
あなかち思ひいてられて　五オ11
心をやりておもひつゝくるに　五ウ1
ゆきかきくらして風もいとすさましき日　五ウ2
いととくおろしまはして　五ウ3
やをらおきいてゝみるに　五ウ5
たゝそのおりの心ちして　五ウ9
さるは月日にそへてたへしのふへきこゝちもせす　六オ3
かの御文ともをとりいてゝみれは　六ウ1
うちとけて聞えかはしけることのつもりにけるほと　六ウ9
ともし火の残りて心ほそき光なるに　七オ2
ほとなく手にさはるもいとうれしくて　七オ4
このふたにうちいれて　七オ4
かきをきつる文なともとりくしてをかんと詞　七オ7
かたはらにみゆるを引よせて　七ウ3
たゝ今もいてぬへきこゝちして　七ウ4
あまくもさへたちかさなりて　七ウ8
もとのやうにいりてふしぬれと　七ウ10
夜ふかくかとをあけていつるならひなりけれは　七ウ11
こよひしもとくあけて出ぬるをとすれは　八オ3
木の葉のかけにつきて…山ちをたゝひとり行こゝち　八ウ5
あしのゆくにまかせて…うちもやすまぬまゝに　八ウ8
雨ゆゝしくふりまさりて　八ウ9
雲のいくへともなくおりかさなりてゆくさきも見えす　九オ2
涙のあめさへふりそひてこしかた行さきも見えす　九オ6・7
これもみやこのかたよりとおほえてみのかさなとき
てさえつりくる女あり　九オ10
たゝあよみにあゆみよりて　九ウ1
なにゆへかゝるおほあめにふられてこの山なかへ…詞　九ウ2
いつくよりいつくをさしておはするそ詞　九ウ4
したをたひ〳〵ならして　九ウ7・8
たゝおもふことありてこのやまのおくにたつぬへき
ことありて夜ふかくいてつれと　九ウ9
山ちさへまとひてこしかたもおほえす詞　一〇オ2・2
いよ〳〵いとおしかりて手をひかへてみちひく　一〇オ4
ほとなくをくりつけてかへりぬ　一〇オ9
すへてこゝちもうせて露はかりおきもあかられす　一〇オ11
おもひのほかにたつねしるたよりありて　一一オ2
すてゝいてしもしのみやまの月ならて歌　一一オ11
心はこゝろとして　一一ウ1
ゆふくれのなかめにうちそひて

露のいのちをもかけてけふまてもなからへてけるを　一二ウ6
いとかひなき心ちして　一二ウ10
つほのいしふみかきたえて歌　一二ウ11
只いまのやうにおほえて　一二オ8
うきせをわけて中川の水歌　一二オ10
さるへきつるてもなくてみつからきこえさせす文　一三ウ6
かきすてられたるもいと心うくて　一三ウ7
其比こゝ地れいならぬことありて　一三ウ11
はかなきやとりもとめいてゝうつろひなんとす　一三オ3
とはすかたりもあやしくてなく〳〵かとをひきいつる一三オ5
さきはなやかにおひてこせんなとこと〳〵しくみゆる一三オ6
日ころにこえて心ほそくかなし　一三ウ6
ひとりうちふしたれとゝけてしもねられす　一三ウ9
しゐておもひつゝけてそ…たよりなりける　一四オ3
いさよひのひかり待いてゝ　一四オ6
そゝろにはつかしくみまはされて　一四ウ9
なけきなからはかなくすきて秋にもなりぬ　一五オ1
ともしひのかけはかりを友としてあくるをまつも　一五オ5
きくもはるけき道をわけてみやこの物まうてせんとて一五オ10
身をかへたるとおもひなしてとたにうきをわするゝ…一五ウ7
たゝいまになりては心ほそきことのみおほかれと　一六オ2
涙のみさきにたちて心ほそくかなしきことそ　一六オ4
たえぬなみたとのみ思ひなされて　一六オ7
あめかきくらしふりいてゝ　一六オ11

すみわひてたちわかれぬるふるさとも歌　一六ウ4
人のゆくにまかせて夢ちをたとるやうにて　一六ウ8
われかのこゝちのみして　一六ウ11
ゆきゝの人あつまりて舟をやすめすさしかへるほと　一七オ2
河のはたにおりゐてつく〳〵とこしかたをみれは　一七オ5
何事にかゆゝしくあらそひて　一七オ8
いとゝなみたおちまさりてしのひかたく　一七オ11
おもひいてゝ名をのみしたふみやことり歌　一七ウ5
はま千とりむら〳〵にとひわたりて　一七ウ9
思ふ事なくて詞　一八オ1
人しれぬ心の中のみさま〳〵くるしくて　一八オ2
みやこいてゝはるかになりぬれは　一八オ11
みなとのなみこゝもとにきこえて　一九オ1
さまかはりていとおかしきさまなれと　一九オ3
雪いとしろくて　一九オ11
はかなくもみすてられて心ほそかりつるおもひにや
まひになりてかきりになりたるよしを　一九ウ7・7
とりのあとのやうにかきつゝけておこせたるをみるに一九ウ9
あはれにかなしくてよろつをわすれていそきのほり
なんとするは　一九ウ10・10
みちもいとこほりとちて…あやうかるへきを詞　二〇オ2
はか〳〵しくうちそふ人もなくて詞　二〇オ3
おもひわひてねのみなかるゝを　二〇オ4
これかれとさためてのほるへきになりぬ　二〇オ6

さすかに心ほそくて人見わくへくもあらす　二〇ウ2
またきてなるゝおりもこそあれ歌　二〇ウ5
わか心よりおもひたちていてぬれと　二〇ウ9
ふはのせきになりてゆきたゝふりにふりくるにかせ
さへましりてふき行も　三オ1・1
見出したるけしきもいとおそろしくて　三オ4
あめふりいてゝかゝみの山もくもりてみゆるを　三オ7・7
…と思ひいてゝ　三オ9
あめゆゝしくはれてしろき雲おほかる山おほかれは　三ウ4
猶あれまさりたる心ちして　三ウ10
おい人はうち見えてこよなくをこたりさまにみゆるも三オ3
→**して・として・いかにして・からくして**
→**とて**（一二例）
→**にて**（一七例）
→**かくて**（六例）・**さて(も)**（四例）
→**かねて**（二例）
しゐておもひつゝけてそ　一四オ3
すくれてたのもしき心ちして　二ウ3
→**すべて**（三例）
→**せめて**（四例）

で〔接助〕　〈源氏〉
かへりなんともいはてふしぬ　六ウ7
すゝりのふたもせて有けるかかたはらにみゆるを　七オ6
すてゝいてしもしのみやまの月ならて歌　一二オ2
露のいのちをもかけてけふまてもなからへてけるを　一二ウ7
てならひ（手習）　〈源氏〉
手ならひのほんこなとやりかへすつゐてに　六オ8
ては〔連・助〕　〈源氏〉
たゝいまになりては心ほそきことのみおほかれと　一六オ2
ふるさともきてはくやしき旅ころもかな歌　一六ウ5
このくにゝなりてはおほきなる川いとおほし　一七ウ7
て・む〔連・助動〕　〈源氏〉
にはかにうつまさにまうてゝんとおもひ立ぬるも詞　二ウ1
身をもなけてんとおもひけるにや詞　七ウ2
おなしくそのあたりまてみち引たまひてんや詞　一〇オ1
ても〔連・助〕　〈源氏〉
なにゝたとへてもあかすかなしかりける　二オ10
帰てもいとくるしけれはうちやすみたるほと　三オ7
こゝかしこにせぬれいのをとなとをきくにつけても　一〇ウ6
とてもかくてもねのみなきかちなり　一六ウ2・2

と

と（戸）　→つまど（二例）

と〔格助〕　〈源氏〉
よとゝもにおもひいつれは歌　二三ウ2
こわらはのおなしこゑなるともものかたりする也けり　九オ8
なにと又みやこへかへるらむとあちきなくものうし　三〇オ8

たれはかりかうまてしたはむとあはれもあさからす　三三オ4
うき人しもとあやにくなるこゝちすれは　一三オ4
人わろき心の程やとまたうちをかれて　三ウ5
はや山ふかく入なんとうちもやすまぬまゝに　八ウ5
いまはとうちやすむほと　一〇オ8
…と我心のみそかへす〳〵うらめしかりける　一オ11
有し夢のしるしにやとうれしかりける　六オ5
仏の御しるへにやとまてうれしくありかたかりける　一〇オ3
されはさらんとすこしおかしくなりぬ　一八オ10
人やおとろかんとゆゝしくおそろしけれと　六ウ10
人にやみつけられんとそらおそろしけれは　七ウ7
人のおもふらんことゝ…かたはらいたけれは　一九ウ11
何とて思ひたちけんとくやしきことかすしらす　一六ウ2
身ならましかはと*人しれぬ心の中のみ…くるしくて　一八オ1
けふかあすかと心ほそきいのちなから　一四オ5
身の行ゑにかと…心ほそきことのみおほかれと　一六オ2
いかなるにかとさすかめもあはすみしろきふしたるに　五オ1
めはやき山かつもやとつゝましなから　三〇ウ3
せかいふらうことあるところをしゐておもひつゝけて　一四オ3
きた山のふもとゝいふ所なれは　八オ2
あふみのくにのちといふところより　一六オ10
みかはのくにやつはしといふ所をみれは　一八オ5
ひえの山なとに侍るといふをきくに　三一ウ6
あないとおし〳〵とくりかへしいふそうれしかりける　九ウ4

おなしくそのあたりまてみち引たまひてんやといへは　一〇オ1
…といえはえにかなしきことおほかりける　六オ6
身をもなけてんとおもひけるにや　七ウ2
きえかへりまたはくへしとおもひきや　一四ウ10
…と思ひいつるにたゝそのおりの心ちして　五ウ9
いかにせましとおもひいつるにそ　一〇ウ7
あめふりいてたりしそかしと思ひいてゝ　三一オ9
いつるをかきりにとおもひかへすそ　三一ウ2
うへなきものは*と思ひけつこゝろのたけそ　一九ウ2
くちはつへき契こそはと…おもひしつむれと　三三オ7
ふし柴のとたに*おもひしらさりける　一ウ8
うつまさにまうてゝんとおもひ立ぬるも　二ウ1
…とことはりに思ひたちぬる心のつきぬるそ　六オ4
うきをわするゝたよりもやとあやなく思ひたちぬ　一五オ7
…とおもひつゝくるにも　三オ6
…と心ほそく思ひつゝくるにも　四ウ7
…と心をやりておもひつゝくるに　五オ11
あらぬすまゐに身をかへたるとおもひなして　一五オ6
たえぬなみたとのみ思ひなされて　一六オ7
いまはかくにこそとおもひなりぬるよの心ほそさ　二オ9
今はとものをおもひなりにしも　六オ6
…とりわきたりける御思ひのなこりも　四オ10
…とおもふにはつかしくもたのもしくもなりぬ　六オ1
かゝるところもありけりとすこくおもふさまなるに　一〇ウ3

はるかにこそはなりゆくらん**とおもふ**には　一七オ10
けにみやもわらやも**とおもふ**には　一八ウ9
これもみやこのかたより**とおほえ**て　九オ6
つねよりもめとゝまりぬらんかし**とおほゆる**ほとに　六ウ3
あなむつかし**とおほゆれ**と　六ウ6
…**とおほゆれ**と　三ウ10
かきつはたおほかる所**ときゝ**しかとも　一八オ7
折しも打こはつくろふもむつかし**ときゝゐ**たるに　七ウ6
かく**とた**に**聞え**させまほしけれと　一三オ4
さそふ水たにあらは**と**朝夕の**こと草になり**ぬるを　一五オ7
これかれ**とさため**て　二〇オ6
あやし〳〵**とさへつる**　九ウ3
身をはやきせのそこ**とた**に**しら**すまよはん歌　七オ11
つゐにいかになりはてん**とす**らん語　四ウ6
はかなきやとりもとめいてゝうつろひなん**とす**　一三オ3
かきをきつる文なともとりくしてをかん**とする**ほと　七オ4
夜ふかくみやこをいてなん**とする**に　一五ウ9
いそきのほりなん**とする**は　一九ウ10
いつくにか**とたつぬれ**は　二ウ5
いとあやし**ととかむる**人もあれは　八ウ2
はる〳〵きぬ**となけき**けんも　八オ9
ねぬよのとも**とならひ**にける　一オ4
心をいたましむるつま**となり**けれは　一オ7
はるけきなか**となり**にけるかな歌　三オ1
そゝろにうらめしきつま**となる**にや　二ウ1
人々もこしやむま**と待いつる**ほと　一七オ4
紅葉このころそさかり**と見え**て　二ウ7
かすみにそれ**とた**に**見え**す　一六オ11
かつらのさとの人なら**んとみゆる**に　九オ9
それか**とみゆる**くさ木もなし　一八オ8
なにをかなとゝめん**と見出し**たるけしきも　二オ4
それ**とは**かりも**見をくり**きこゆるは　一三オ11
…**とみおとろく**人おほかるらめなれとも　一〇オ5
今は**とみる**はあはれあさからぬなかに　六ウ2
あはらやのきならん**と**そゝろに**みる**もあわれなり　二三オ2
たれはかりにか**とめとゝめ**かたけれは　一三オ7
身をかへたるとおもひなして**とたに**　一五ウ7
なやましさもうれへきこえん**とにや**あらむ　二ウ4
なにといふ心にか　九ウ3
何となく　六オ8・一五オ11
なにと又みやこへかへるらむと語　二〇オ7
つと手にもちたるはかりそ　一四オ2
きとむねふたかる心ちするを　一四ウ2
しほ〳〵とぬるゝほとになりぬ　八オ9
　↓**つくづくと**（六例）**はるばると**（二例）
ひろ〳〵とおひたゝしき河あり　一七オ1
夜もやう〳〵**ほの〳〵と**するほとに　八ウ1
と（所・処）↓たちど

ど〔接助〕　〈源氏〉

かねてしらぬにしもあらさりしかと　一ウ6
おきふしなかめわふれと　二オ7
仏の御心の中はつかしけれと　二ウ2
すみつき筆のなかれもいとみところあれと　三オ11
いとくるしくをしはかり聞ゆれと　四オ11
人の御さまそことたかひておはしけれと　五オ9
夜もいたく更ぬとて人はみなねぬれと　五ウ5
あなむつかしとおほゆれと　六ウ6
ゆゝしくおそろしけれと　六ウ10
たゝうちおもふ事をかきつくれと　七オ9
もとのやうにいりてふしぬれと　七ウ8
からうしてほうりんのまへすきぬれと　八ウ10
夜ふかくいてつれと　九ウ9
いとせめてかなしけれと　一一オ10
人しれすかきなかせと　一一ウ3
をしあけかたならねと　一三オ3
つまとは引たてつれと　一三オ5
…とおほゆれと　一三ウ10
かくとたに聞えさせまほしけれと　一三オ4
かくとはおほしよらさらめと　一三オ10
たゝひとりうちふしたれとゝけてしもねられす　一三ウ9
日ころふれととひくる人もなく　一四オ1
なをさりなくいさなへと　一五ウ4
心ほそく思ひわつらはるれと　一五ウ6
人はみなおきさはけと　一六オ1
心ほそきことのみおほかれと　一六オ3
みちのほとめとゝまる所々おほかれと　一六ウ6
人みなわたりはてぬれと　一七オ4
恋しきこともさま〳〵なれと　一七ウ3
…となけきけんも思ひ出らるれと　一八オ10
さすかにせはからねと　一八ウ6
かりそめなれと　一八ウ8
いとおかしきさまなれと　一九オ3
ゆめのまへにあはれなれと　一九ウ2
いとうれしけれと　二〇オ7
人見わくへくもあらすちいさくかきつくれと　二〇ウ2
いと人すくなに心ほそけれと　二〇ウ6
わか心よりおもひたちていてぬれと　二〇ウ9
たひのほとも思ひしられされと　二〇ウ10
かくおもひつゝくれと　二一ウ1
身をも世をもおもひしつむれと　二三オ7
われよりはひさしかるへきあとなれと歟　二三オ9

とか〔連・助〕　〈源氏〉

のちのおや**とか**のたのむへきことはりもあさからぬ　一五オ8

とが（咎）　〈源氏〉

うきたる身の**とか**もかうまては思ひしらすそすき…歟　四ウ8

とが・め（咎）〔下二〕　〈源氏〉

山人のめにも**とかめぬ**まゝに　八オ5
いとあやしと**とかむる**人もあれは　八ウ2
とかや〔連・助〕　〈源氏〉
またくちろん**とかや**をもせす　九ウ7
とをつあふみ**とかや**きくもはるけき道をわけて　一五オ9
すのまた**とかや**ひろ〳〵とおひたゝしき河あり　一七オ1
とき（時）　〈源氏〉
をのつからおもひしつむる**時**なきにもあらねは　二一オ7
しほのさす**とき**はこの河の水さかさまになかるゝ…　一九オ1
と・く（疾）〔形〕　〈源氏〉
いと**とく**おろしまはして　五ウ3
とくあけて出ぬるをとすれは　七ウ11
と・け（解）〔下二〕　〈源氏〉
たゝひとりうちふしたれと**ゝけてしも**ねられす　一三ウ9
うちとけて聞えかはしけることのつもりにけるほとも　六ウ1
と・げ（遂）〔下二〕　〈源氏〉
ひとひにほい**とけにし**かは…うちもうれしく思ひ…　一〇ウ1
ところ（所）　〈源氏〉
かの**ところ**にはむめきたのかた月ころわつらひ給ける　四オ6
きた山のふもとゝいふ**所**なれは　八オ2
かの**ところ**にし山のふもとなれは　八オ7
まちとる**ところ**にも…みおとろく人おほかるらめ　一〇オ4
さてこの**所**をみるにうき世なからかゝる**ところ**もあ　一〇ウ2・3
りけりとすこくおもふさまなるに　一〇ウ7
かゝらぬ**ところ**にてやみなましかはいかにせまし　一三オ3
をたきのちかき**所**にて　一三ウ3
かの**ところ**に行つきたれは　一三ウ5
あやしくはかなけなる**所**のさまなれは　一六オ10
せかいふらうことある**ところ**をしゐておもひつゝけて　一四オ3
あふみのくにのちといふ**ところ**より　一八オ5
みかはのくにやつはしといふ**所**をみれは　一八オ7
かきつはたおほかる**所**ときゝしかとも　一八ウ1
はまなのうらそおもしろき**ところ**なりける　二〇ウ11
日かすもうらかにてとゝこほる**所**もなかりけるを　一八ウ4
おちつきところのさまをみれは　二ウ11・三オ11
いと**み所**おほかるに・いと**みところ**あれと　六ウ11
たゝしやうしひとへをへたてたる**居ところ**なれは　〈源氏〉
ところから　一四オ8
まとかなる月かけに**所から**あはれすくなからす　〈源氏〉
ところせ・う（所狭）〔形〕　一七オ2
いと**ゝころ***せう**かしかましく…ののしりあひたり　〈源氏〉
ところどころ（所々）　一六ウ6
みちのほとめとゝまる**所々**おほかれと　二ウ10
ところ〳〵もりぬれたるさまなと　〈源氏〉
とし（年）　三オ6
いつの**とし**にかあらんこの川に水の出たちし世　一七ウ9
としふりにけるしほかまともの…ゆかみたてたる　〈源氏〉
としつき（年月）

そゝろにつもりけむ**とし月**のつみも　一〇ウ6

として〔連〕　〈源氏〉

心はこゝろ**として**猶思ひなれにしゆふくれのなかめに　二オ11

ともしひのかけはかりを友**として**あくるをまつも　一五オ5

とぞ〔連・助〕　〈源氏〉

今さらにとりはものかは**とぞ**おもひしられける　三オ2

雲井はるかに心を送るしるへ**とぞ**なりにける　二オ1

わかれにたえぬなみた**とぞ**みる歌　一六オ9

ふしの山はたゝこゝもとに**とぞ**みゆる　一九オ11

とだ・え（跡絶）〔下二〕　〈源氏〉

一夜はかりの**とたえ**もあるましきやうにならひにける　一ウ4

ふし柴の**とたえ**におもひしらさりける　一ウ8

よひあか月のあかを**とたえす***　一〇ウ5

と・ぢ（閉）〔上二〕　〈源氏〉

みちもいと**こほりとちて**さはりかちにあやうかるへき　三〇オ2

とぢめは・て（閉果）〔下二〕

いま**とちめはてつる**いのちなれは　九オ3

とて〔連・助〕　〈源氏〉

御ふみ**とて**とりいれたるもむねうちさはきて　三オ8

夜もいたく更ぬ**とて**人はみなねぬれと　五ウ4

月のかけも見えす**とて**…とおもふにはつかしくも　六オ1

こゝにふし給へ**とて**我かたへもかへらすなりぬ　六ウ5

をのつからこゝろの行たよりもや**とて**…かきなかせと　二ウ3

よもなかめしな人めもる**とて**歌　一三ウ9

かくてしもや**とて**又ふるさとにたちかへるにも　一四ウ8

みやこの物まうてせん**とて**のほりきたるに　一五オ10

みる人も心くるしく**とて**ともすへきものともなと…　二〇オ5

さりとてとゝまるへきにもあらねは　一六オ3

何とて思ひたちけん歌　一六ウ1

こゝとても又たちかへらん事もかたけれは　二〇オ8

とてもかくても〔副〕　〈源氏〉

とてもかくてもねのみなきかちなり　一六ウ2

とどこほ・る（滞）〔四〕　〈源氏〉

日かすもうららかにて**とゝこほる**所もなかりけるを　二〇ウ11

とどま・り（留）〔四〕　〈源氏〉

つねよりもめ**とゝまりぬらんかし**とおほゆるほとに　六ウ3

いかなるにか心**とゝまらす**日かすふるまゝに　一九オ4

さりとて**とゝまるへき**にもあらねは　一六オ3

なにゝ心**とゝまるへく**もあらぬをみやるも　二一ウ11

みちのほとめ**とゝまる**所々おほかれと　一六ウ6

とど・め（留）〔下二〕　〈源氏〉

たれはかりにかとめ**とゝめたり***　一三オ7

なにをかな**とゝめん**歌　二一オ4

さま〳〵**とゝむる**人もおほかりけれは　二〇オ3

やかて**とゝむる**ふはのせきもり歌　二一オ6

とにかくに〔副〕　〈源氏〉

とにかくにさはりかちなるあしわけにて　二オ4

三日はかりは**とにかくに**さはりしかとも　一〇オ11

とにかくにさはるへきこゝ地もせねは　二〇オ1
とにかくにおもひわけにし事なく詞　二〇オ7
とのゐひと（宿直人）　〈源氏〉
とのゐ人さへ折しも打こはつくろふも　七ウ5
とのゐ人の夜ふかくかとをあけていつるならひなり…　七ウ9
とは〔連・助〕　〈源氏〉
あらしふけ**とは**おもはさりしを歌　三オ5
かく**とは**おほしよらさらめと　一三オ9
とばかり〔副〕　〈源氏〉
とはかりこしかたゆくさきを思ひつゝくるに　一オ8
とはずがたり（不問語）　〈源氏〉
とはすかたりもあやしくてなく〳〵かとをひきいつる　一三オ4
と・ひ（問・訪）〔四〕　〈源氏〉
まちなれしふるさとをたに**とはさりし**歌　一四ウ4
これやさは**とふ**につらさのかす〳〵に歌　三ウ6
けちかく**とふへき**人もなけれは　一六ウ7
すみたかはらならねは**ことゝふ**へきみやことりも…　一七ウ3
とひ・くる（訪来）〔カ変〕　〈寝覚〉
日ころふれと**とひくる**人もなく心ほそきまゝに　一四オ1
とひわた・り（飛渡）〔四〕　〈拾遺・日ポ〉
はま千とりむら〳〵に**とひわたりて**　一七ウ9
とふのすがごも（十編菅薦）　〈堤中納言〉
しきもさためぬ**とふのすかこも**に…うちふしたれと　一三ウ8
とほざか・る（遠離）〔四〕　〈源氏〉
おもふかたには**とをさかるらむ**歌　一八オ4
とほつあふみ（遠江）　〈万葉〉
とをつあふみとかやきくもはるけき道をわけて　一五オ9
とほ・り（透）〔四〕　〈源氏〉
身の**ぬれとをりたる**こと伊勢のあまにもこえたり　九オ4
かせのをともすさましく身**にしみとをる**心ちするに　一五ウ11
とま・り（止・泊）〔四〕　〈源氏〉
とまりもしらす人のゆくにまかせて　一六ウ8
とまる人々の行すゑをおほつかなく　一七ウ2
むすひをけるへたてともゝ**かけとまるへく**もあらす　一八ウ8
とみに（頓）〔副〕　〈源氏〉
ふるさとはいとゝわすられぬるにや**とみにも**たゝれす　三オ1
とも（友・伴）　〈源氏〉
ねぬよの**とも**とならひにける月のひかりまちいて…　一オ4
ともなる人々時雨しぬへしはやかへり給へなといへは　二ウ5
宵ねすへき**とも**ゝなけれは　一三ウ7
つとてに持たるはかりそたのもしき**とも**なりける　一四オ2
かへにそむけるともしひのかけはかりを**友**として　一五オ4
みやこの**とも**にもうちくしたる身ならましかは　一八オ1
ともすへきものともなとこれかれとさためて　二〇オ5
とも〔連・助〕　〈源氏〉
かへりなん**とも**いはてふしぬ　六ウ7
すへてうつゝのこと**ゝも**おほえす　八オ7
同し世**とも**おほえぬまてにへたゝりはてにけれは　二ウ8

かなしきことそなにゝたとふへし**とも**おほえぬ　一六オ5
君やこし**とも**おもひわかれぬなかみちに　四オ4
こゝはいつく〳〵**とも**けちかくとふへき人もなけれは一六ウ7
雲のいくへ**とも**なくおりかさなりてゆくさきも見えす　八ウ8
草まくらむすふ**とも**なきうたゝねのゆめ歌　一三ウ11
よもすからやむ**とも**なきゝぬたの音　一五オ2
しのはぬ人はあはれ**とも**みし歌　三三オ10
夢うつゝ**とも**わきかたかりし宵のまより　一ウ1
かゝるたひねになけく**とも**ゆめたにゆるせ歌　一九オ9

ども（共）〔接尾〕　〈源氏〉
かの御文**とも**をとりいてゝみれは　六オ9
あさましけなるしつのを**とも**むつかしけなるもの**と**
　もを舟にとりいれなとする程　一七オ6・6
あまのしわさにとしふりにけるしほかま**とも**のおも
　ひ〳〵にゆかみたてたるすかた**とも**みなれす…一七ウ10・11
すこくをろかなるいゑる**とも**のなかにはおなしかや
　ゝ**とも**なとさすかにせはからねと　一八ウ5・6
むすひをけるへたて**とも**ゝかけとまるへくもあらす　一八ウ7
ふみ**とも**のあまたあるをみれは　一九ウ5
人のおもふらんこと**ゝも**のさはかしくかたはらいた…一九ウ11
ともすへきもの**とも**なとこれかれとさためて　二〇オ5

ども〔接助〕　〈源氏〉
ものおもふ事のなくさむにはあらね**とも**　一オ3
三日はかりはとにかくにさはりしか**とも**　一〇ウ1
かきつはたおほかる所ときゝしか**とも**　一八オ7
みおとろく人おほかるらめ**なれとも**かつらのさと人
　のなさけにをとらめやは　一〇オ6

ともかくも〔副〕　〈源氏〉
こゝなから**ともかくも**なりなはわつらはしかるへけれ一三オ1

ともしび（燈）　〈源氏〉
ともし火の残りて心ほそき光なるに　六ウ9
外なる**ともし火**のひかりなれは筆のたちとも見えす　七オ9
かへにそむける**ともしひ**のかけはかりを友として　一五オ4

ともに（共）〔連〕　〈源氏〉
よと**ゝもに**おもひいつれはくれたけの歌　二三ウ2
みやこのかたよりも**ともに**ふみとものあまたあるを　一九ウ5

とり（鳥）　〈源氏〉
今さらに**とり**はものかはとそおもひしられける歌　二オ2
はま千とりむら〳〵にとひわたりて　一七ウ9
　→**みやことり**（二例）

と・り（取）〔四〕　〈源氏〉
せきもりのなつかしからぬおもゝち**とりにくゝ**　三オ3
まちとるところにも…とみおとろく人おほかるらめ　一〇オ4

とりい・で（取出）〔下二〕　〈源氏〉
かの御文ともを**とりいてゝ**みれは　六オ9

とりい・れ（取入）〔下二〕　〈源氏〉
御ふみとて**とりいれたる**もむねうちさはきて　三オ8
むつかしけなるものともを舟に**とりいれ**なとする程　一七オ7

とりぐ・し（取具）〔サ変〕　〈源氏〉
かきをきつる文なとも**とりくして**をかんとするほと　七オ4
とりそ・へ（取添）〔下二〕　〈源氏〉
空のあはれにひころのをこたりを**とりそへて**　三オ10
とりのあと（鳥跡）　〈源氏〉
とりのあとのやうにかきつゝけておこせたるをみるに一九ウ8
とりわ・き（取分）〔四〕　〈源氏〉
…と**とりわきたりける**御思ひのなこりもいとくるしく　四オ10

な

な（名）　〈源氏〉
おもひいてゝ**名**をのみしたふみやことり歌　一七ウ5
な〔終助〕　〈源氏〉
よもなかめし**な**人めもるとて歌　一三ウ9
わする**なよ**歌　二〇ウ4
はかなし**な**みしかき夜半の草まくら歌　一三ウ10
な〔助動ぬノ未然形〕　〈源氏〉
こゝなからともかくもなり**なは**わつらはしかるへけれ一三オ1
→なまし・なむ
なか（中）→うち　〈源氏〉
人しれすちきりし**なか**のことの葉を歌　三オ4
あはれあさからぬ**なか**に　六ウ2
はるけき**なか**となりにけるかな歌　一三オ1
すこくをろかなるいゑるとものなかには　一八ウ6
この**山なか**へはいて給ぬるそ話　九ウ1
よなかよりふりいてつるあめの　八オ8
ゐ中のすまゐもみつゝなくさみ給へかし話　一五ウ1
なかがは　〈源氏〉
うき世をわけて**中川**の水歌　一三オ10
なが・き（長）〔形〕　〈源氏〉
なかき夜のまとひをおもふにも　一一オ9
なかきおもひのよもすからやむともなきゝぬたの音　一五オ1
なが・せ（流）〔四〕　〈源氏〉
こゝろの行たよりもやとて人しれす**かきなかせと**　一一ウ3
ながぢ（長道）　〈万葉〉
さすかならはぬひなの**なかち**に　一六ウ10
なかなか〔副〕　〈源氏〉
れいの**なか〳〵**かきみたすこゝろまよひに　三ウ1
あはれしるこゝろのほと**なか〳〵**きこえんかたなくて　四ウ1
かくてしも**なか〳〵にしも**あらぬさまなり　一八ウ9
なかみち（中道）　〈源氏〉
れいの人しれす**なかみち**ちかきそらにたに　三ウ8
君やこしともおもひわかれぬ**なかみち**に　四オ4
なが・め（眺）〔下二〕　〈源氏〉
ひるはひめもすに**なかめ**よるは夜すからものをのみ…一九オ5
猶思ひなれにしゆふくれの**なかめ**にうちそひて　一一オ11
きみもさはよそのなかめやかよふらん歌　一一ウ7
よも**なかめし**な人めもるとて歌　一三ウ9

なかむるかとにおもかけそみし月かけは　一〇ウ10

ながめい・で（眺出）〔下二〕　〈源氏〉

ものもおろさすつく〳〵と**なかめいてたるに**　一四オ7

ながめわ・ぶれ（眺侘）〔上二〕　〈源氏〉

袖のいとまなき心ちしておきふし**なかめわふれ**と　二オ7

ながら〔接助〕　〈源氏〉

またほとふるもことはり**なから**いひしにたかふつらさ　四オ8

ありし**なから**の心ならましかは歌　四ウ7

うきくもまかはすなり**なから**山のはちかきひかりの　五ウ7

うき世**なから**かゝるところもありけり歌　一〇ウ2

おもひ**なから**のみなんさるへきつゐてもなくて文　一三ウ5

こゝ**なから**ともかくもなりなは　一三オ1

はつかしくはしたなきこゝちし**なから**いま一たひ…　一三オ11

けふかあすかと心ほそきいのち**なから**　一四オ5

なけき**なから**はかなくすきて秋にもなりぬ　一五オ1

めはやき山かつもやとつゝまし**なから**…　二〇ウ3

↓**われながら**（二例）

ながら・へ（長）〔下二〕　〈源氏〉

露のいのちをもかけてけふまても**なからへてける**を　一一ウ7

なが・れ（流）〔下二〕　〈源氏〉

かとちかくほそき川の**なかれたる**　三オ5

まへにはおほきなる川のとかに**なかれたり**　八ウ11

すみつき筆の**なかれ**もいとみところあれと　三オ11

この河の水さかさまに**なかるゝ**やうにみゆるなと　一九オ2

な・き（泣）〔四〕　〈源氏〉

とてもかくてもねのみ**なきかち**なり　一六ウ3

あとなきなみにねをや**なかまし**歌　一七ウ6

おもひわひてねのみ**なかるゝ**を　二〇オ4

な・き（無・亡）〔形〕　〈源氏〉

いとゝ袖のいとま**なき**心ちして　二オ7

すへて思ひまする**こと**なきこゝろのうちならんかし　三オ6

つこもり比の月**なき**空にあまくもさへたちかさなりて　七ウ4

はては山ちにまよひぬるそすへきかた**なき**や　八ウ11

恨もなけきもせきやるかた**なき**むねのうちを　一一ウ1

むすふとも**なき**うたゝねのゆめ歌　一三ウ11

なかきおもひのよもすからやむとも**なき**ゝぬたの音　一五オ2

たゝ一すちに**なき**になしはてつる身なれは　八ウ4

をのつからおもひしつむる時**なき**にしもあらねは　一一ウ7

あとなきなみにねをやなかまし歌　一七ウ6

うへなき*ものはと思ひけつこゝろのたけそ　九ウ2

ちかのしほかまもいと**かひなき**心ちして　一一ウ10

ふりみふらすみ**さためなき**ころの空のけしきは　二オ6

つれなきよのあはれさもみつからきこえあはせたく文　四ウ3

↓**はかなき**（三例）・**はかなく**（二例）

↓**ほどなき・ほどなく**（五例）

日かすもうらかにてとゝこほる所も**なかりける**を　二〇ウ11

さもあさましく**はかなかりける**契りの程を　一オ10

なか〳〵きこえんかた**なくて**日かすふるいふせさを　四ウ1

雲のいくへともなくおりかさなりてゆくさきも見えす　八ウ8
さるへきつゐてもなくてみつからきこえさせす図　一三ウ6
日ころふれととひくる人もなく心ほそきまゝに　一四オ1
ともしひのかけはかりを友として…まつもしつ心なく一五オ5
思ふ事なくてみやこのともにもうちくしたる身…詞　一八オ1
たゝいまはか〳〵しくうちそふ人もなくて詞　二〇オ3
とにかくおもひわけにし事なくなにと又みやこへか
へるらむとあちきなくものうし*　二〇オ7・8
うきをわするゝたよりもやとあやなく思ひたちぬ　一五ウ8
行すゑをおほつかなく恋しきこともさま〳〵なれと　一七ウ2
　→こよなく（二例）
われなからさためなくたひのほとも思ひしられされと二〇ウ9
みわたさるゝほとの道なれはさはりなく行つきぬ　八オ11
こよひはつれなくてやみなまし詞　四ウ10
人はみな何心なくね入ぬる程にやをらすへりいれは
何となく　六オ8・一五オ11
…なとなをさりなくいさなへと　一五ウ4
いまさら身のうさもやるかたなく恋しけれは　四ウ10
うらめしからぬそのふしもなし歌　二ウ3
それかとみゆるくさ木もなし　一八オ8
…の中はかりにてくたしはてぬるはいとかひなしや
はかなしなみしかき夜半の夢まくら歌　二ウ11
いてきこえんかたなけれは…なみたのみむせかへり　二ウ10
宵ねすへきともゝなけれは…ひとりうちふしたれと　三ウ11
　　一三ウ7
けちかくとふへき人もなけれは…はる〳〵とゆくを　一六ウ7

な・き〔接尾〕→はしたなき（二例）
なぐさ・み（慰）〔四〕　〈源氏〉
ゐ中のすまゐもみつゝなくさみ給へかし詞　一五ウ2
わひはつるなくさみにさそふ水たにあらはと　一五オ7
ものおもふ事のなくさむにはあらねとも　一オ3
なくなく（泣々）〔副〕　〈源氏〉
なく〳〵かとをひきいつるおりしも　一三オ5
な・げ（投）〔下二〕　〈源氏〉
身をもなけてんとおもひけるにや詞　七ウ2
なげ（無）〔形動〕　〈源氏〉
おほかたのよのなさけをすてぬなけのあはれはかりを一ウ5
　→はかなげなる（三例）
なげ・き（歎）〔四〕　〈源氏〉
なけきつゝ身をはやきせのそことたに歌　七オ11
なけきなからはかなくすきて秋にもなりぬ　一五オ1
はる〳〵きぬとなけきけんも思ひ出らるれと　一八オ9
かりの世の夢の中なるなけきはかりにもあらす　二オ8
ひとかたならぬ恨もなけきも　一ウ1
こゝろからかゝるたひねになけくとも歌　一九オ9
なげきわ・ひ（歎佗）〔上二〕　〈源氏〉
なけきわ*ひ*身をはやきせのそことたに歌　七オ11
なごり（名残）　〈源氏〉
なこりもいと心ほそくてこの御文をつく〳〵とみるに　三ウ3

とりわきたりける御思ひの**なこり**もいとくるしく　四オ11
日ころふりつるあめの**なこり**にたちまふ雲間の　一三オ2
みやこの**なこり**もいつくをしのふ心にか心ほそく　一五ウ5
ものことに**なこり**おほかる心地するにも　二〇オ9

なさ（無）　〈源氏〉
たえてほとふる**おほつかなさ**の　二オ8
かへらんほとをたにしらぬ**心もとなさ**に　一七ウ1
過きつる日かすの**ほとなさ**に　一七ウ2

なさけ（情）　〈源氏〉
手をひかへてみちひく**なさけ**のふかさそ　一〇オ2
かつらのさと人の**なさけ**にをとらめやは　一〇オ6
おほかたのよの**なさけ**をすてぬなけのあはれはかりを　一ウ5

な・し（為・成）〔四〕　〈源氏〉
あらぬすまゐに身をかへたると**おもひなして**とたに　一五ウ7
おもひなしにやこゝもかしこも猶あれまさりたる心ち　二ウ9
せきのし水もたえぬなみたとのみ**思ひなされて**　一六オ7
こまやかに**かきなされたる**すみつき筆のなかれも　三オ10

なしは・て（成果）〔下二〕　〈源氏〉
たゝ一すちになきに**なしはてつる**身なれは　八ウ4

なつか・し（懐）〔形〕　〈源氏〉
はしらのあら〳〵しきか**なつかしからさりつる**も　二〇ウ1
せきもりの**なつかしからぬ**おもゝちとりにくゝ　三オ3
はかなきくもさへ**なつかしく**なりぬ　二ウ6

なとかくしも思ひいれけん　一オ10

など（等）〔副助〕　〈源氏〉
ともなる人々時雨しぬへしはやかへり給へ**なと**いへは　二ウ6
みつからきこえあはせたく**なと**あれは　四ウ3
かうまては思ひしらすそすきまし**なと**思ひつゝくるに　四ウ9
こよひはつれなくてやみなまし**なと**思ひみたるゝに　四ウ11
人二三人はかりして物かたり**なと**するに　五ウ4
仏**なと**の見え給つるにやとおもふに　六オ1
手ならひのほんこ**なと**やりかへすつゐてに　六オ8
はさみはこのふた**なと**のほとなく手にさはるも　七オ1
かきをきつる文**なと**もとりくしてをかん　七オ4
みのかさ**なと**きてさえつりくる女あり　九オ7
またくちろん**なと**をし給たりけるにか　九オ11
こゝかしこにせぬれいのを**なと**をきくにつけても　一〇ウ5
人しれすなみをわけし事**なと**只いまのやうにおほえて　二オ8
をのつからことのつゐてに**なと**はかり…きこえたるに　二ウ4
みつからきこえさす**なと**なをさりにかきすてられ…　二ウ6
こせん**なと**こと〳〵しくみゆるを　二オ6
かほしるきすいしん**なと**まかふへうもあらねは　二オ9
こまやかなる物かたり**なと**するつゐてに　二オ11
人はみぬへきさまなる**なと**なをさりなくいさなへと　二ウ3
むつかしけなるものともを舟にとりいれ**なと**する程　二オ7
あるひは水にたふれいり**なと**するにも　二オ8
松のこたち**なと**絵にかゝまほしくそみゆる　二ウ4

おなしかやゝともなとさすかにせはからねと　一八ウ6
さかさまになかるゝやうにみゆるなとさまかはりて　一九オ2
うちそふ人もなくてなとさま〳〵ととむる人も…　二〇オ3
とものすへきものともなとこれかれとさためて　二〇オ5
ひらのたかねやひえの山なとに侍る詞　二一ウ5
ところ〳〵もりぬれたるさまなと…心とゝまるへくも二一ウ11

なに（何）　〈源氏〉
心ほそさなにゝたとへてもあかすかなしかりける　二一オ10
かなしきことそなにゝたとふへしともおほえぬ　一六オ5
もりぬれたるさまなとなにゝ心とゝまるへくもあらぬ二一ウ11

なにをかなとゝめんと見出したるけしきも詞　二一オ3

なにごころ　〈源氏〉
人はみな何心なくね入ぬる程に　六ウ8

なにごと　〈源氏〉
何事にかゆゝしくあらそひて　一七オ7

なにと（何）〔副〕　〈山家・日ポ〉
なにと又みやこへかへるらむとあちきなくものうし詞二〇オ7

なにといふ〔連〕　〈狂言〉
なにといふ心にかしたをたひ〳〵ならして　九ウ3

なにとて〔副〕　〈源氏〉
何とて思ひたちけんとくやしきことかすしらす詞　一六ウ1

なにとな・く（何無）〔連〕　〈源氏〉
何となくつもりにける手ならひのほんこなと　六オ8
何となくこまやかなる物かたりなとするつゐてに　一五オ11

なにびと（何人）　〈源氏〉
これはなに人そあな心う詞　九オ10

なにゆゑ（何故）　〈源氏〉
なにゆへかゝるおほあめにふられてこの山なかへは詞　九ウ1

なぬか　〈源氏〉
ひかりのほのかにみゆるは七日の月なりけり　五ウ8

なび・き（靡）〔四〕　〈源氏〉
くれ竹のたゝすこしうちなひきたるさへ　二二オ11
風になひくけふりのすゑもゆめのまへにあはれなれ　一九ウ1

なほ（猶）〔副〕　〈源氏〉
火のひかりのなをほのかにみゆるに　七オ5
山ちはなを人のこゝちなりけるか　一〇オ7
心はこゝろとして猶思ひなれにしゆふくれのなかめに一二オ11
さても猶うきにたへたるいのちのかきりありけれは　一四ウ6
こゝもかしこも猶あれまさりたる心ちして　二一ウ10

なほざり（等閑）〔形動〕　〈源氏〉
なをさりにかきすてられたるもいと心うくて　二一ウ7
人はみぬへきさまなるなとなをさりなくいさなへと　一五ウ3

なまし〔連・助動〕　〈源氏〉
こよひはつれなくてやみなましなと思ひみたるゝに詞　四ウ11
かゝらぬところにてやみなましかはいかにせまし詞　一〇ウ7

なみ（波）　〈源氏〉
人しれすなみをわけし事なと只いまのやうにおほえて二二オ7
おもひいつるほとにもなみはさはきけり歌　二二オ9

あとなき**なみ**にねをやなかまし歌　一七ウ6
波あらきしほの海路　一八ウ2
うみいとちかけれはみなとの**なみ**こゝもとにきこえて一九オ1
あらいそのなみのをともまくらのをとにおちくる　一九オ6
ゆめたにゆるせおきつ**しらなみ**歌　一九オ10

なみだ（涙）　〈源氏〉
心に乱れおつる**なみた**ををさへて　一オ8
なみたをそふる水くきのあと歌　三ウ7
たゝいひしらぬ**なみた**のみむせかへりたる　三ウ11
まつかきくらす**涙**に月のかけも見えすとて　五ウ11
いとゝかきくらす**涙**のあめさへふりそひて　九オ1
いとゝしき**なみた**のもよほしになん　一ウ4
つきせぬ**涙**のしつくはまとうつあめよりもなり　一五オ5
まつかきくらす**涙**のみさきにたちて　一六オ4
せきのし水もたえぬ**なみた**とのみ思ひなされて　一六オ7
わかれにたえぬ**なみた**とそみる歌　一六オ9
いとゝ**なみた**おちまさりてしのひかたく　一七オ11

なむ〔係助〕　〈源氏〉
かへす〳〵夢こゝち**なん**しける　四オ6
いとゝしきなみたのもよほしに**なん**　一ウ4
おもひなからのみ**なん**さるへきつゐてもなくて文　三ウ5
うちつけにものむつかしき心のくせに**なん**　三〇オ11

な・む〔連・助動〕　〈源氏〉
かへり**なん**ともいはてふしぬ語　六ウ7

あしのゆくにまかせてはや山ふかく入**なん**と語　八ウ5
はかなきやとりもとめいてゝうつろひ**なん**とす　一三オ3
さすかひたみちにふりはなれ**なむ**みやこのなこりも　一五ウ4
夜ふかくみやこをいて**なん**とするに　一五ウ9
よろつをわすれていそきのほり**なん**とするは　一九ウ10
たちはなれ**なん**はさすかに心ほそくて　三〇ウ1

なやましさ（悩）　〈源氏〉
心つからの**なやましさ**もうれへきこえんとにやあらむ　二ウ4

なら・し（鳴）〔四〕　〈源氏〉
したをたひ〳〵**ならして**あないとおし〳〵と…　九ウ4

なら・ひ（習・慣）〔四〕　〈源氏〉
ねぬよのともと**ならひにける**月のひかりまちいて…　一オ4
とたえもあるましきやうに**ならひにける**を　一ウ4
夜ふかくかとをあけていつる**ならひ**なりけれは　七ウ10
手ならひのほんこなとやりかへすつゐてに　六オ8
おほつかなさの**ならはぬ**日かすのへたつるも　二オ8
さすか**ならはぬ**ひなのなかちに　六ウ9

ならひは・て（習果）〔下二〕*
いつはりにさへ**ならひはてにける**こともあるにや　二ウ8

なら・ひ（並）〔四〕　〈源氏〉
さとわかぬひかりにも**ならひぬへき**こゝちするは　五オ10

な・り（成）〔四〕　〈源氏〉
物ことに心をいたましむるつまと**なりけれ**は　一オ7
風さへ吹てものさはかしく**なりけれ**は　三オ2

やう〳〵心ちもをこたりさまになりたるを　一四ウ7
やまひになりてかきりになりたるよしを　一九ウ7・8
ふはのせきになりてゆきたゝふりにふりくるに　三〇ウ11
たゝいまになりては心ほそきことのみおほかれと　一六オ2
このくにゝなりてはおほきなる川いとおほし　一七ウ7
雲かくれたりつる月のうきくもまかはすなりなから　五ウ7
ともかくもなりなはわつらはしかるへけれは　一三オ1
雲井はるかに心を送るしるへとそなりにける　一一オ1
はるけきなかとなりにけるかな歌　一三オ1
いたくもたとらすなりにしや　一ウ3
神な月にもなりぬ　二オ5
あか月にもなりぬ　四オ1
しはすにもなりぬ　五ウ2
はつかしくもたのもしくもなりぬ　六オ2
我かたへもかへらすなりぬ　六ウ6
しほ〳〵とぬるゝほとになりぬ　八オ9
さま〳〵よのためしにもなりぬへく　一一オ6
うつきにもなりぬ　四オ5
はかなくすきて秋にもなりぬ　一五オ1
くたるへき日にもなりぬ　一五ウ8
ほとなくあふさか山にもなりぬ　一六オ6
みのをはりのさかひにもなりぬ　一六ウ11
されはさらんとすこしおかしくなりぬ　一八オ11
かのくにの中にもなりぬ　一八ウ1
かくてしも月のすゑつかたにもなりぬ　一九ウ4
これかれとさためてのほるへきになりぬ　三〇オ6
はかなきくもさへなつかしくなりぬ　三一ウ6
かしこくおもひしつめるこゝろもいかに*なりぬるにか　五オ4
さたかにもおほえすなりぬる御おもかけさへ　五ウ10
さそふ水たにあらはと朝夕のこと草になりぬるを　一五オ8
これもむかしにはあらすなりぬるにや　一八オ6
みやこいてゝはるかになりぬれは　一八オ11
ことの葉のつゝきも見えすなりぬれは　三ウ2
夜もやう〳〵ほの〳〵とするほとになりぬれは　八ウ1

↓おもひなり（三例）

そゝろにうらめしきつまとなるにや　一三ウ1
これやさはいかになるみの浦なれは歌　一八オ3

な・り〔助動〕　〈源氏〉

くるしくたへかたきことしぬはかりなり　八ウ6
しぬへき心地さへすれはこゝによりゐたる也歌　九ウ11
つきせぬ涙のしつくはまとうつあめよりもなり　一五オ6
とてもかくてもねのみなきかちなり　一六ウ3
かくてしもなか〳〵にしもあらぬさまなり　八ウ10
そゝろにみるもあわれなり　三オ2
こゝろそうたてくかなしきものなりけるを　一ウ10
ほのかにみゆるは七日の月なりけり　五ウ8
夜ふかくかとをあけていつるならひなりけれは　七ウ10
こわらはのおなしこゑなるとものかたりする也けり　九オ8

山ちはなを人のこゝち**なり**けるか　一〇オ8
かの人しれすうらみきこゆる人**なり**けり　一三オ8
つとてに持たるはかりそたのもしきとも**なり**ける　一四オ2
うき世の夢もをのつから思ひさますたより**なり**ける　一四オ4
かの御あたり**なり**しねにまよひたるこゝちするにも　一四ウ2
はまなのうらそおもしろきところ**なり**ける　一八ウ1
さもうちつけに**あやにくなり**し心まよひには　一ウ7
おもひしつめるこゝろも**いかなり**ぬるにか　五オ4
思ひすることなきこゝろのうち**なら**んかし　三オ7
おもへはあさましくよのつね**なら**す　四ウ5
ありしなからの心**なら**ましかは　四ウ8
これやかつらのさとの人**なら**んとみゆるに　九オ9
もしのみやまの月**なら**て歌　一一オ2
をしあけかた**なら**ねと…あやにくなるこゝちすれは　一三オ3
まつ**なら**ぬ木すゑたにそゝろにはつかしく　一四ウ8
すみたかはら**なら**ねはことゝふへきみやことりも…　一七ウ3
みやこのともにもうちくしたる身**なら**ましかは　一八オ1
いとはなれまうきあはらやののき**なら**んと歌　三三オ1
心ならすも夢のかよひちたえ果ぬへし　一九オ7
さま〳〵むね**しつかなら**す　一三ウ2
人をみやまの**はるかなら**ねは歌　三三オ11
→**ひとかたなら**ぬ（二例）
其比こゝ地**れいなら**ぬことありて　三ウ11
御まへにとも**なる**人々　二ウ5

かうらんのつま**なる**いはのうへにおりゐて　二ウ9
ともし火の残りて心ほそき光**なる**に　六ウ9
外**なる**ともし火のひかりなれは筆のたちとも見えす　七オ9
こわらはのおなしこゑ**なる**とものかたりする也けり　九オ8
すこくおもふさま**なる**に　一〇ウ3
かりの世の夢の中**なる**なけきはかりにもあらす　二オ8
命もあやうきほと**なる**を　一三オ1
すまさん人はみぬへきさま**なる**歌　一五ウ3
松にかゝれる枝心の色もほかには**なる**心地して　二ウ11
あさましけなるしつのをとも　一七オ6
→**あだなる**（二例）
うき人しもと**あやにくなる**こゝちすれは　三オ4
いかなるにか　五オ1・一九オ3
おほきなる川　一七ウ7・一八ウ10
こゝかしこにすこく**をろかなる**いゑゐとものなかには　一八ウ5
あれたる庭の秋の露**かこちかほなる**虫のねも　一オ6
かたはらなる人うちみしろきたにせす　七ウ8
心つくしなることのみまされは　六オ3
松にかゝれる枝心の色もほかには**こと**＊＊**なる**心地して　二ウ11
何となく**こまやかなる**物かたりなとするつゐてに　一五オ11
とにかくに**さはりかちなる**あしわけにて　二オ5
のとかなるみつうみのをちいたるけちめに　一八ウ2
春の**のとやかなる**に…ほんこなとやりかへすつゐてに　六オ7
→**はかなけなる**（三例）

にし山のふもとなれはいと**はるか成**に　八オ8
ゆふつく夜のかけ**ほのかなる**に　二オ2
まとかなる月かけに所からあはれすくなからす　一四オ8
むつかしけなるものともを舟にとりいれなとする程　一七オ6
たゝしやうしひとへをへたてたる居ところ**なれ**は　六ウ11
外なるともし火のひかり**なれ**は　七オ10
きた山のふもとゝいふ所**なれ**は　八オ2
さてもかのところにし山のふもと**なれ**は　八オ8
みわたさるゝほとの道**なれ**は　八オ11
なきになしはてつる身**なれ**は　八ウ4
いまとちめはてつるいのち**なれ**は　九オ3
あやしくはかなけなる所のさま**なれ**は　一三ウ5
一かたならぬねさめのもよほし**なれ**は　一五オ4
ころは神な月の廿日あまり**なれ**は　一五ウ10
これやさはいかになるみの浦**なれ**は歌　一八オ3
あたりのくさもみなかれたるころ**なれ**はにや　一八オ8
さまかはりていとおかしきさま**なれ**と　一九オ3
したはぬこゝち**なれ**は　二二オ8
われよりはひさしかるへきあと**なれ**と歌　二三オ9
ゆめのまへに**あはれなれ**と　一九ウ2
かりそめなれとけにみやもわらやもとおもふには　一八ウ8
おほつかなく恋しきことも**さま〳〵なれ**と　一七ウ3
なりは・て（成果）〔下二〕　〈源氏〉
身のゆくゑつゐにいかに**なりはてん**とすらん歌　四ウ6

なりひらのあそむ（業平朝臣）　〈古今〉〈源氏（なりひら）〉
なりひらのあそむのはる〳〵きぬとなけきけんも　一八オ9
なりゆ・き（成行）〔四〕　〈源氏〉
いとゝみやこのかたはるかにこそ**はなりゆくらん**歌　一七オ10
又**なりゆかん**はていかゝ　二二オ8
なるみのうら（鳴海浦）　〈新古今〉
なるみのうらのしほひかた音にきゝけるよりも…　一七ウ7
これやさはいかに**なるみの浦**なれは歌　一八オ3
な・れ（慣・馴）〔下二〕　〈源氏〉
をこなひなれたるあまきみたちのよひあか月のあか…　一〇ウ4
猶思**ひなれにし**ゆふくれのなかめにうちそひて　一一オ11
まちなれしふるさとをたにとはさりし歌　一四ウ4
ふたはより**まいりなれにしか**は…たのもしき心ちして　二ウ3
↓みなれず（二例）
またきて**なるゝ**おりもこそあれ歌　二〇ウ5
なれども〔接〕　〈日蓮遺文〉
みおとろく人おほかるらめ**なれとも**かつらのさと人　一〇オ6
のなさけにをとらめやは

に

に〔格助〕　〈源氏〉
心**に**乱れおつるなみたをさへて　一オ8
ふし柴のとたえ**に**おもひしらさりける　一ウ8
秋のかせのうき身**に**しらるゝこゝろそ　一ウ9

なにゝたとへてもあかすかなしかりける　二オ10
なにゝたとふへしともおほえぬ　一六オ5
なにゝ心とゝまるへくもあらぬをみやるも　二ウ11
うつまさにまうてゝんとおもひ立ぬるも　二ウ1
御まへにともなる人々　二ウ5
いはのうへにおりゐて　二ウ9
松にかゝれる枝心の色も　二ウ10
空のあはれにひころのをこたりをとりそへて　二オ9
かきみたすこゝろまよひにことの葉のつゝきも見えす　二ウ1
ゆふやみにちきりたかへぬしるへはかりにて　二ウ9
まくらにちかきかねのをとも　四オ1
なかみちにれいのたのもし人にてすへりいてぬるも　四オ4
鐘のひゝきに人しれすたのみをかくるも　四ウ4
すいかいのおれのこりたるひまにたちかくるゝも　五オ6
まつかきくらす涙に月のかけも見えすとて　五ウ11
月日にそへてたへしのふへきこゝちもせす　六オ2
手ならひのほんこなとやりかへすつゐてに　六オ9
あはれあさからぬなかに　六ウ2
こゝにふし給へ　六ウ5
こゝによりゐたる也　九ウ11
ほとなく手にさはるも　七オ1
このふたにうちいれて　七オ3
かたはらにみゆるを引よせて　七オ7
みちの国かみのかたはらに…かきつくれと　七オ8
月なき空にあまくもさへたちかさなりて　七ウ4
木の葉のかけにつきて　八オ3
あらしの山のふもとにちかつく程　八ウ7
はては山ちにまよひぬるそ　八ウ10
かゝるおほあめにふられて　九ウ1
このやまのおくにたつぬへきことありて　九ウ8
かつらのさと人のなさけにをとらめやは　一〇オ6
こゝかしこにせぬれいのをとなとをきくにつけても　一〇ウ5・6
こゝかしこにすこくをろかなるいゐゐともの　一八ウ5
みねの松かせに吹かよひなかむるかとにおもかけそ　一〇ウ10・10
　みし月かけは　一一オ11
ゆふくれのなかめにうちそひて　一一ウ4
いとゝしきなみたのもよほしになん　一三オ7
この川に水の出たちし世　一三オ11
あれたる庭にくれ竹の…うちなひきたるさへ　一三オ5
さきにたちたるくるまあり　一六オ4
かきくらす涙のみさきにたちて　一三ウ4
かのところに行つきたれは　一三ウ6
空のけしきも日ころにこえて心ほそくかなし　一三ウ8
とふのすかこもにたゝひとりうちふしたれと　一四オ2
つとてに持たるはかりそたのもしき
はかなけるかきねの草にまとかなる月かけに所から　一四オ8・8
　あはれすくなからす

かりのいほにこゝろほそくもやとる月かけ歌　一四オ10
ねにまよひたるこゝちするにも　一四ウ2
又ふるさとにたちかへるにも　一四ウ8
かへにそむけるともしひの　一五オ4
あらぬすまゐに身をかへたるとおもひなして　一五ウ6
すさましく身にしみとをる心ちするに　一五ウ11
をとに聞しせきのし水も　一六オ6
音にきゝけるよりもおもしろく　一七ウ8
わかれにたえぬなみたとそみる歌　一六オ9
かすみにそれとたに見えす　一六オ11
いつくに野も山もはる〳〵とゆくを　一六ウ7
さすかならはぬひなのなかちにおとろへはつる身も　一六ウ10
河のはたにおりゐて　一七オ5
舟にとりいれなとする程　一七オ7
水にたふれいりなとするにも　一七オ8
あとなきなみにねをやなかまし歌　一七ウ6
あまのしわさにとしふりにけるしほかまとものみつうみのをちいたるけちめに　一七ウ9
絵にかゝまほしくそみゆる　一八ウ3
なみこゝもとにきこえて　一九オ1
たゝこゝもとにとそみゆる　一九オ11
まくらのもと*におちくるひゝきには　一九オ7
こゝろからかゝるたひねになけくとも歌　一九オ9
風になひくけふりのすゑも　一九ウ1
ゆめのまへにあはれなれ　一九ウ1
京に入日しもあめふりいてゝ　二一オ7
いつるをかきりにとおもひかへすそ　二一ウ2
みやこのやまにかゝるしらくも歌　二一ウ8
身をうき草にあくかれし心も　二三オ6
よもきかそまにくちはつへき契こそはと　二三オ5
よのわつらはしさにおもひなからのみなん文　二三ウ5
かへらんほとをたにしらぬ心もとなさに　一七ウ1
過きつる日かすのほとなさに　一七ウ2
いとせめてわひはつるなくさみに　一五オ7
やう〳〵心ちもをこたりさまになりたるを　一四ウ7
たゝいまになりては心ほそきことのみおほかれと　一六オ2
朝夕のこと草になりぬるを　一五オ7
このくにゝなりては　一七ウ7
やまひになりてかきりになりたるよしを　一九ウ7・8
ふはのせきになりて　二〇ウ11
日ころふりつるあめのなこりにたちまふ雲間のゆふ　二三オ2
つく夜のかけ…　一九ウ7
心ほそかりつるおもひにやまひになりて　八ウ5
あしのゆくにまかせて　一六ウ8
人のゆくにまかせて　一四ウ6
さても猶うきにたへたるいのちの　二一オ9
くらきよりくらきにたとらむ　七ウ5・5
いとものおそろしうくらきに夜もまたふかきに

いひしにたかふつらさはしもありしにまさる心地す
るは　四オ9・9
ありしにかはるけちめもみえぬものから　二オ3
これかれとさためてのほるへきになりぬ　二〇オ6
ひえの山なとに侍る　二ウ5
…とおほゆるほとに　六ウ3
人はみな何心なくね入ぬる程に　六ウ8
かきくらす雪まをしはしまつ程に*　二オ5
くれはつるほとにゆきつきたれは　二ウ9
あくるまゝにしほ〳〵とぬるゝほとになりぬ　八オ9
夜もやう〳〵ほの〳〵とするほとになりぬれは　八ウ1
同し世ともおほえぬまてにへたゝりはてにけれは　二ウ9
たゝあよみにあゆみよりて　九オ9
ゆきたゝふりにふりくるに　二オ1
一すちになきになしはてつる身なれは　八ウ4
あながちに*思ひいてられて　五オ10
あはれにかなしくてよろつをわすれて　一九ウ9
あやにくにわか心よりおもひたちていてぬれと　二〇ウ8
→**いかに**（九例）
今さらにとりはものかはとそおもひしられける　二オ2
木々の紅葉**色々**に見えて　二ウ10
→**うちつけに**（二例）
…と**いへはえ**にかなしきことおほかりける　六オ7
→**おこたりざまに**（二例）
しほかまともの**おもひ〳〵に**ゆかみたてたるすかた…　一七ウ10
→**おもひのほかに**（二例）
かすかに笛のをとの聞えくる　一四ウ1
つらさの**かす〳〵に**なみたをそふる水くきのあと　三ウ6
いといたうかへりみ**かちに**こゝろほそし　一三ウ3
いとこほりとちてさはり**かちに**あやうかるへきを　二〇オ2
いとおもしろけれはすき**かてに**おりぬ　二ウ8
→**げに**（二例）
…と**ことはりに**思ひたちぬる心のつきぬるそ　六オ4
こまやかにかきなされたるすみつき筆のなかれも　三オ10
この河の水**さかさまに**なかるゝやうにみゆる　一九オ2
→**さすがに**（四例）
さたかにもおほえすなりぬる御おもかけさへ　五ウ10
さま〳〵にたすけあつかはるゝほと　一〇オ7
しきりに身のありさまをたつぬれは　九ウ5
しのひやかにうちたゝくをきゝつけたるには　五オ2
→**そぞろに**（六例）
たゝいまになりては心ほそきことのみおほかれと　一六オ2
→**ついでに**（三例）
つねにより居つるはしらのあら〳〵しきか　二〇オ11
→**つひに**（三例）
→**とにかくに**（四例）
ふるさとはいとゝわすられぬるにや**とみに**もたゝれす　三オ1
→**ともに**（二例）

かくてしも**なか〳〵に**しもあらぬさまなり　一八ウ9
なをさりにかきすてられたるもいと心うくて　二三ウ7
　→**にはかに**（二例）
おほきなる川**のとかに**なかれたり　一八ウ11
さき**はなやかに**おひて　一三オ6
　→**はるかに**（三例）
さすか**ひたみちに**ふりはなれなむ　一五ウ4
ひとひにほいとけにしかは　一〇ウ1
いと**人すくなに**心ほそけれと　二〇ウ6
　→**ひとすぢに**（二例）
ひるは**ひめもすに**なかめ　一九オ5
　→**ほのかに**（二例）
まことにかの人をみやこはちかき心のみはかりにて　二一ウ1
　→**ままに**（七例）
はま干とり**むら〳〵に**とひわたりて　一七ウ9
にはも**せに**うきをしらせしあきかせは　一〇ウ9
　→**ものごとに**（二例）
　→**やうに**（六例）
ゆたのたゆたにものをのみおもひくちにしはては　一一オ4
おり〳〵にちりくることの葉もありしにこそ　一一ウ5

〈源氏〉

に〔接助〕
こゝろにもあらすいそきいつる**に**　二ウ7
たひのほとも思ひしられされいとはず**に**　二〇ウ10
…と思ひいつる**に**たゝそのおりの心ちして　五ウ9
こしかたゆくさきを思ひつゝくる**に**　一オ9
…なと思ひつゝくる**に**　四ウ9
…と心をやりておもひつゝくる**に**　五ウ1
…なと思ひたるゝ**に**　四ウ11
…とおもふ**に**はつかしくもたのもしくもなりぬ　六オ1
…といふをきく**に**　二ウ6
これやさはとふ**に**つらさのかす〳〵に語　三ウ6
物まうてせんとてのほりきたる**に**　一五オ11
ゆきたゝふりにふりくる**に**かせさへましりて　二オ1
そのほとを人しれすまつ**に**　七ウ11
火のひかりのなをほのかにみゆる**に**　七オ6
…とみゆる**に**　九オ9
やをらおきいてゝみる**に**　五ウ6
この所をみる**に**　一〇ウ2
かきつゝけておこせたるをみる**に**　一九ウ9
人二三人はかりして物かたりなとする**に**　五ウ4
さしむかひたる心ちする**に**　五ウ11
物おそろしきこゝちする**に**　六ウ5
夜ふかくみやこをいてなんとする**に**　一五ウ9
すさましく身にしみとをる心ちする**に**　一五ウ11
われなからうとましき**に**　五オ5
みなれすものおそろしき**に**　一七オ9
いとみ所おほかる**に**　二ウ11
この川に水の出たりし**に***　二三オ7

さすかめもあはすみしろきふしたるに　五オ2
…ときゝゐたるに　七ウ6
つく〳〵となかめいてたるに　一四オ7
関屋ちかくたちやすらひたるに　二一オ2
人はみなねぬれと露まとろまれぬに　五ウ5
ひたちのみやの御すまゐ思ひいてらるゝに　五オ8
ともし火の残りて心ほそき光なるに　六ウ9
すこくおもふさまなるに　一〇ウ4
春ののどやかなるに　六オ8
にし山のふもとなれはいとはるか成に　八オ8
ゆふつく夜のかけほのかなるに　一三オ3

にか〔連・助〕　〈源氏〉
いかにうつりいかにそめけるこゝち**にか**さも…　一ウ7
なにといふ心**にか**したをたひ〳〵ならして　九ウ3
いつくをしのふ心**にか**心ほそく思ひわつらはるれと　一五ウ5
いつのとし**にか**あらんこの川に水の出たちし世　一三オ6
いかにさすらふる身の行ゑ**にか**と…心ほそきことのみ　一六オ2
くちろんなとをし給たり**けるにか**なにゆへかゝる…　九ウ1
おもひしつめるこゝろもいかなり**ぬるにか**やをら…　五オ4
まつほとすきぬるは**いかなるにか**とさすかめもあはす　五オ1
いかなるにか心とゝまらす日かすふるまゝに　一九オ3
いつくにかあらんかすかに笛のをとの聞えくる　一四ウ1
いつくにかとたつぬれは　二一ウ4
何事にかゆゝしくあらそひて　一七オ7

たれはかりにかとめとゝめかたけれは　一三オ7

に・き〔連・助動〕　〈源氏〉
いたくもたとらすなり**にし**や　一ウ3
おきわかれ**にし**袖の露いとゝかこちかましくて　四オ3
ものをのみおもひくち**にし**はては　二オ4
猶思ひなれ**にし**ゆふくれのなかめにうちそひて　二オ11
とにかくにおもひわけ**にし**事なく　二〇オ7
ふたはよりまいりなれ**にしか**は　二ウ3
ひとひにほいとけ**にしか**は　一〇ウ1

にく・く（難）〔接尾〕　〈源氏〉
せきもりのなつかしからぬおもゝち**とりにくゝ**　三オ3

にげい・で（逃出）〔下二〕　〈源氏〉
人のてを**にけいて給**か　九オ11

にけ・り〔連・助動〕　〈源氏〉
ねぬよのともとならひ**にける**月のひかりまちいて…　一オ4
一夜…のとたえもあるましきやうにならひ**にける**を　一ウ4
何となくつもり**にける**手ならひのほんこなと　六オ8
うちとけて聞えかはしけることのつもり**にける**ほとも　六ウ1
雲井はるかに心を送るしるへとそなり**にける**　二オ1
つらきいつはりにさへならひはて**にける**ことも　二ウ8
はるけきなかとなり**にける**かな　歌　三オ1
あまのしわさにとしふり**にける**しほかまとものつゐにきえはて給**にけれ**は　一七ウ10
いたくまはりはて**にけれ**は　四オ7
　　九オ5

うつゝ心もあらすあくかれそめ**にけれ**は　二オ5
同し世ともおほえぬまてにへたゝり**はてにけれ**は　二ウ9

にこそ〔連・助〕　〈源氏〉
いまは**かくにこそ**歌　二オ9
おり〳〵にちりくることの葉も**ありしにこそ**　二ウ6

にさへ〔連・助〕　〈源氏〉
つらきいつはり**にさへ**なら*ひはてにけることも　二ウ8

にさんにん　〈源氏〉
人二三人はかりして物かたりなとするに　五ウ3

にしも〔連・助〕　〈源氏〉
あたなる色をかねてしらぬ**にしも**あらさりしかと　一ウ5
今はとものをおもひなり**にしも**といへはえに歌　六オ6
をのつからおもひしつむる時なき**にしも**あらねは　二オ7
かくてしもなか〳〵**にしも**あらぬさまなり歌　一八ウ9

にしやま（西山）　〈源氏〉
さてもかのところ**にし山**のふもとなれは　八オ7

にぞ〔連・助〕　〈源氏〉
いかにせましとおもひいつる**にそ**みもゆるこゝち…　一〇ウ8
ふしの山はたゝこゝもと**にそ**みゆる　一九オ11

にだに〔連・助〕　〈源氏〉
人しれすなかみちちかきそら**にたに**たと〳〵しき…　三ウ8

にて〔格助〕　〈源氏〉
さはりかちなるあしわけ**にて**神な月にもなりぬ　三オ5
れいのたのもし人**にて**すへりいてぬるも　四オ5
松かせのあら〳〵しきをたのもし人**にて**これも…　九オ6
いたつらもの**にて**ふしたりしを　一〇オ10
とし月のつみもかゝらぬところ**にて**やみなましかは歌　一〇ウ7
おもひかけぬたより**にて**をたきのちかき所**にて**はか　一三オ2・3
なきやとりもとめいてゝ
うしろはまつはら**にて**まへにはおほきなる川…　一八ウ10
都をうしろ**にて**こしおりのこゝちには　二〇ウ7
ちきりたかへぬしるへはかり**にて**つきせす夢の…　三ウ10
こゝろの中はかり**にて**くたしはてぬるは　二ウ10
はかなけなるあしはかり**にて**むすひをけるへたて…　一六ウ7
みやこはちかき心のみはかり**にて**いつるをかきりに　二ウ2
この程**にては**あめふりいてたりしそかし歌　二オ8

にて〔連〕　〈源氏〉
日かけも**うらかにて**とゝこほる所もなかりけるを　二〇ウ11
→**やうにて**（二例）

になん〔連・助〕　〈源氏〉
ものむつかしき心のくせ**になん**…　二〇オ11

には（庭）　〈源氏〉
あれたる**庭**の秋の露　一オ6
ふるさとの**には**もせにうきをしらせしあきかせは　一〇ウ8
あれたる**庭**にくれ竹のたゝすこしうちなひきたるさへ　二オ11
露のいのちの**庭**のあさちふ　一四ウ11

には〔連・助〕　〈源氏〉
あやにくなりし心まよひ**には**…おもひしらさりける　一ウ7

松にかゝれる枝心の色もほかにはことなる心地して　二ウ10
かのところにはむめきたのかた月ころわつらひ給ける　四オ6
よひには雲かくれたりつる月の　五ウ6
こゝもみやこにはあらすきた山のふもとゝいふ所…　八オ2
この世にはいつかはおほえん　八ウ3
おもふかたにはとをさかるらむ歌　一八オ4
これもむかしにはあらすなりぬるにや　一八オ5
いゑゐるとものなかにはおなしかやゝともなと…　一八ウ6
まへにはおほきなる川のとかになかれたり　一八ウ10
まくらのをとにおちくるひゝきには心ならすも夢の…　一九オ7
都をうしろにてこしおりのこゝちにはこよなく…　二〇ウ7
人しれすこゝろはかりにはさてもいかにさすらふる　一六オ1
ものおもふ事のなくさむにはあらねとも　一オ3
なりゆくらんとおもふにはいとゝなみたおちまさりて　一七オ11
みやもわらやもとおもふにはかくてしもなか〳〵に…　一八ウ9
うちたゝくをきゝつけたるにはかしこくおもひ…　五オ3

にはかに〔俄〕〔副〕　〈源氏〉

にはかにうつまさにまうてんとおもひ立ぬるも　二オ11
にはかにいそきたつを　二〇オ1

にも〔連・助〕　〈源氏〉

神な月にもなりぬ　二オ5
こゝろにもあらすいそきいつるに　二ウ6
あか月にもなりぬ　四オ1
我にもあらすおきわかれにし袖の露　四オ2
さとわかぬひかりにもならひぬへきこゝちするは　五オ10
しはすにもなりぬ　五ウ2
ものおそろしかりける山人のめにもとかめぬまゝに　八オ5
身のぬれとをりたること伊勢のあまにもこえたり　九オ4
まちとるところにもあやしくものくるをしきものゝ…　一〇オ4
さま〳〵よのためしにもなりぬへく　一一オ6
おもひいつるほとにもなみはさはきけり歌　一三オ9
うつきにもなりぬ　一四オ5
秋にもなりぬ　一五オ1
くたるへき日にもなりぬ　一五ウ8
ほとなくあふさか山にもなりぬ　一六オ6
みのをはりのさかひにもなりぬ　一六ウ11
みやこのともにもうちくしたる身ならましかは詞　一八オ1
かのくにの中にもなりぬ　一八ウ1
月のすゑつかたにもなりぬ　一九ウ4
かりの世の夢の中なるなけきはかりにもあらす　一一オ8
これは人をうらむにもあらす詞　九ウ6
…とおもひつゝくるにもすへて思ひすることなき…　一三オ6
…と心ほそく思ひつゝくるにもありしなからの心…　四ウ7
思ふにもいふにもたらす　九オ2・2
なかき夜のまとひをおもふにもいとせめてかなし…　一一オ10
夢のこゝちするにもいてきこえんかたなければ　一三ウ10
つねよりもをとするこゝちするにもいつのとしにか　一三オ6
ねにまよひたるこゝちするにもきとむねふたかる…　一四ウ2

みなれすめつらしき心ちする**にも**思ふ事なくて…　一七ウ11
そのことになこりおほかる心地する**にも**うちつけに…二〇オ10
あるひは水にたはふれいりなとする**にも**みなれす…　一七オ8
又ふるさとにたちかへる**にも**まつならぬ木すゑたに…一四ウ8
この御文つく〳〵とみる**にも**日比のつらさはみな…語　三ウ3
をのつからたの*むる宵はありし**にも**あらす　一ウ11
おとろかしきこえたる**にも**…なをさりにかきすて…　二ウ5
さりとてとゝまるへき**にも**あらねは　一六オ3
いとゝわすられぬるに**やとみにも**たゝれす　三オ1
いとうれしく**もあはれにも**さま〳〵むねしつかならす二三ウ1

にや　〔連・助〕　〈源氏〉

そのほとのまきれ**にや**またほとふるもことはりなから　四オ8
かのちいさきわらは**にや**しのひやかにうちたゝくを　五オ2
有し夢のしるし**にや**とうれしかりける　六オ5
かくても人**にや**みつけられん語　七ウ7
仏の御しるへ**にや**とまてうれしくありかたかりける語一〇オ3
あくかるゝ心もよほす**にや**にはかにうつまさに…　二オ11
ならひはてにけることもある**にや**同し世とも…　一ウ8
水のまさる**にや**つねよりもをとするこゝちするにも　二オ5
そゝろにうらめしきつまとなる**にや**　二ウ1
おもひなし**にや**こゝもかしこも猶あれまさりたる心…二ウ9
いたくもたとらすなりにし*、**にや**打しきる夢の通ひち…　一ウ3
いとゝわすれぬる**にや**とみにもたゝれす　三オ1
これもむかしにはあらすなりぬる**にや**はしもたゝ…　一八オ6
あくかれし心もこりはてぬる**にや**つく〳〵と…　三三オ5
仏なとの見え給つる**にや**とおもふに語　六オ1
身をもなけてんとおもひける**にや**たゝ今もいてぬ…　七ウ2
うれへきこえんと**にや**あらむ　三ウ4
あたりのくさもみなかれたるころなれは**にや**　一八オ8
つましあれは**にや**されはさらんとすこしおかしく…　一八オ10

にん　〈源氏〉

人**二三人**はかりして物かたりなとするに　五ウ3

ぬ

ぬ（寝）〔下二〕→ね

ぬ（不）〔助動〕→ず　〈源氏〉

ねぬよのともとならひにける月のひかりまちいて…　一オ3
かねてしら**ぬ**にしもあらさりしかと　一ウ5
さすかにたえ**ぬ**夢の心ちは　二オ3
かはるけちめもみえ**ぬ**ものから　二オ4
ならはぬ日かすのへたつるも　二オ8
ちきりたかへ**ぬ**しるへはかりにて　三ウ9
たゝいひしら**ぬ**なみたのみむせかへりたる　三ウ11
君やこしともおもひわかれ**ぬ**なかみちに　四オ4
さとわか**ぬ**ひかりにもならひぬへきこゝちする**は**　五オ10
露まとろまれ**ぬ**にやをらおきいてゝみるに　五ウ5
あはれあさから**ぬ**なかに　六ウ2
山人のめにもとかめ**ぬ**まゝに　八オ5

うちもやすまぬまゝに　八ウ6
おしからぬ命もたゝ今そ心ほそくかなしき　八ウ11
こゝかしこにせぬれいのをとなとをきくにつけても　一〇ウ5
とし月のつみもかゝらぬところにてやみなましかは　一〇ウ7
ひとかたならぬ恨もなけきも　一一ウ1
おほかたよのなさけをすてぬなけのあはれはかりを　一一ウ5
同し世ともおほえぬまてにへたゝりはてにけれは　一一ウ9
うらめしからぬそのふしもなし歌　一二ウ3
其比こゝ地れいならぬことありて　一二ウ11
おもひかけぬたよりにて　一三オ2
しきもさためぬとふのすかこもに　一三ウ8
まつならぬ木すゑたにそゝろにはつかしく　一四ウ8
一かたならぬねさめのもよほしなれは　一五オ3
つきせぬ涙のしつくはまとうつあめよりもなり　一五オ5
たのむへきことはりもあさからぬひとしも　一五オ9
あらぬすまゐに身をかへたるとおもひなしてとたに　一五ウ6
かなしきことそなにゝたとふへしともおほえぬ　一六オ5
せきのし水もたえぬなみたとのみ思ひなされて　一六オ7
わかれにたえぬなみたとそみる歌　一六オ9
さすかならはぬひなのなかちに　一六ウ10
かへらんほとをたにしらぬ心もとなさに　一七ウ1
人しれぬ心の中のみさま〳〵くるしくて　一八オ2
かくてしもなか〳〵にしもあらぬさまなり　一八ウ10
せきもりのなつかしからぬおもゝちとりにくゝ　二一オ3
なにゝ心とゝまるへくもあらぬをみやるも　二三オ1
したはぬこゝちなれは　二三オ7
しのはぬ人はあはれともみし歌　二三オ10
なくさむにはあらねとも　一オ3
いける心ちたにせねは　二オ2
おもひしつむる時なきにしもあらねは　一一オ8
をしあけかたならねと　一二オ3
かほしるきすいしんなとまかふへうもあらねは　一三オ9
さりとてとゝまるへきにもあらねは　一六オ3
すみたかはらならねはことゝふへきみやことりも…　一七ウ3
さすかにせはからねと　一八ウ6
とにかくにさはるへきこゝ地もせねは　二〇オ1
人をみやまのはるかならねは歌　二一オ11

ぬ〔助動〕　〈源氏〉

やう〳〵色つきぬ　一ウ9
神な月にもなりぬ　二オ5
いとおもしろけれはすきかてにおりぬ　二ウ8
あか月にもなりぬ　四オ1
しはすにもなりぬ　五ウ2
夜もいたく更ぬとて語　五ウ4
はつかしくもたのもしくもなりぬ　六オ2
我かたへもかへらすなりぬ　六ウ6
かへりなんともいはてふしぬ　六ウ7
しほ〳〵とぬるゝほとになりぬ　八オ10

みわたさるゝほとの道なれはさはりなく行つきぬ　八オ11
ほとなくをくりつけてかへりぬ　一〇オ4
一すちにうちもうれしく思ひなりぬ　一〇ウ2
うつきにもなりぬ　一四オ5
秋にもなりぬ　一五オ1
あやなく思ひたちぬ　一五ウ8
くたるへき日にもなりぬ　一五ウ8
ほとなくあふさか山にもなりぬ　一六オ6
みのをはりのさかひにもなりぬ　一六ウ11
はる〳〵きぬとなけきけんも歌　一八オ9
すこしおかしくなりぬ　一八オ11
かのくにの中にもなりぬ　一八ウ1
月のすゑつかたにもなりぬ　一九ウ4
のほるへきになりぬ　二〇オ6
はかなきくもさへなつかしくなりぬ　二一ウ6
　↓ぬべし・ぬらん
　↓な・なまし・なむ
いまはかくにこそとおもひなりぬるよの心ほそさそ　二オ9
うつまさにまうてゝんとおもひ立ぬるも　二ウ1
うきふるさとはいとゝわすられぬるにや　三オ1
日比のつらさはみなわすられぬるも人わろき心の程…　三ウ4
れいのたのもし人にてすへりいてぬるも　四オ5
れいのまつほとすきぬるはいかなるにかと　五オ1
かしこくおもひしつめるこゝろもいかなりぬるにか　五オ4
やをらすへりいてぬるもわれなからうとましきに　五オ4
さたかにもおほえすなりぬる御おもかけさへ　五ウ10
ことはりに思ひたちぬる心のつきぬるを有し夢のし
　るしにやとうれしかりける　六オ5・5
人はみな何心なくね入ぬる程に　六ウ8
とくあけて出ぬるをとすれは　七ウ11
はては山ちにまよひぬるそすへきかたなきや　八ウ10
なにゆへ…この山なかへはいて給ぬるそ詞　九ウ2
こゝろの中はかりにてくたしはてぬるはいとかひなし　一三ウ10
朝夕のこと草になりぬるを　一五オ8
出ぬるみちすから　一六オ3
すみわひてたちわかれぬるふるさとも歌　一六ウ4
これもむかしにはあらすなりぬるにや　一八オ6
はる〳〵きぬる*となけきけんも歌　一八オ9
あくかれし心もこりはてぬるにや　二二オ5
月のひかりまちいてぬれは　一オ4
ことの葉のつゝきも見えすなりぬれは　二ウ2
人はみなねぬれと　五ウ5
そきおとしぬれはこのふたにうちいれて　七オ3
もとのやうにいりてふしぬれと　七オ8
夜もやう〳〵ほの〳〵とするほとになりぬれは　八ウ1
ほうりんのまへすきぬれと　八ウ10
さるへき人みなわたりはてぬれと　一七オ4
かゝるわたりをさへへたてはてぬれは詞　一七オ10

みやこいてゝはるかになりぬれは　一八オ11
おもひたちていてぬれと　二〇ウ9
かせさへましりてふき行もかきくれぬれは　二オ2
↓にき・にけり

ぬべ・し〔連・助動〕　〈源氏〉
時雨しぬへしはやかへり給へ歌　二ウ5
夢のかよひちたえ果ぬへし　一九オ8
さま〳〵よのためしにもなりぬへく　二オ6
さとわかぬひかりにもならひぬへきこゝちするは　五オ10
たゝ今もいてぬへきこゝちして　七ウ2
すまさん人はみぬへきさまなる歌　一五ウ3

ぬら・む〔連・助動〕　〈源氏〉
つねよりもめとゝまりぬらんかしとおほゆるほとに　六ウ3

ぬ・れ（濡）〔下二〕　〈源氏〉
ところ〳〵もりぬれたるさまなと　二ウ11
あめのあくるまゝにしほ〳〵とぬるゝほとになりぬ　八オ9

ぬれとほ・り（濡透）〔四〕　〈万葉・太平記・日ポ〉
身のぬれとをりたること伊勢のあまにもこえたり　九オ4

ね

ね（根・嶺）　〈源氏〉
はかなけなるかきねの草に　一四オ8
かひのしらねもいとしろく見わたされたり　一九ウ3
ひらのたかねやひえの山なとに侍る歌　二ウ5

ね（音）　〈源氏〉
かこちかほなる虫のねも　一オ7
かの御あたりなりしねにまよひたるこゝちするにも　一四ウ2
とてもかくてもねのみなきかちなり　一六ウ3
おもひわひてねのみなかるゝを　二〇オ4
あとなきなみにねをやなかまし歌　一七ウ6

ね（不）〔助動〕↓ぬ

ね（寝）〔下二〕　〈源氏〉
人はみなねぬれと露まとろまれぬに　五ウ5
↓うたゝね（二例）
こゝろからかゝるたひねになけくとも歌　一九オ9
宵ねすへきともゝなけれは　一三ウ7
ねぬよのともとならひにける月のひかりまちいて…　一オ3
たゝひとりうちふしたれとゝけてしもねられす　一三ウ9
宵のまよりせきもりのうちぬる程をたに　一ウ2
れいのうちぬるほとの鐘のひゝきに　四ウ4

ねい・り（寝入）〔四〕　〈源氏〉
人はみな何心なくね入ぬる程にやをらすへりいれは　六ウ8

ねざめ（寝覚）　〈源氏〉
一かたならぬねさめのもよほしなれは　一五オ3

ねや（寝屋）　〈源氏〉
ねやちかききり〳〵すのこゑ　一五オ2

の

の〔格助〕

ねぬよ**の**ともとならひにける　一オ3
月**の**ひかり　一オ4
あれたる庭**の**秋の露　一オ6・6
かこちかほなる虫**の**ねも　一オ7
はかなかりける契り**の**程を　一オ10
宵**の**まより　一ウ2
打しきる夢**の**通ひちは　一ウ3
一夜はかり**の**とたえもあるましきやうに　一ウ4
つき草**の**あたなる色を　一ウ5
ふし柴**の**とたえにおもひしらさりける　一ウ8
秋**の**かせ　一ウ9
うちすくるかね**の**ひゝきを　一ウ11
夢**の**心ちは　二オ3
さためなきころ**の**空**の**けしきは　二オ6・6
いとゝ袖**の**いとまなき心ちして　二オ7
おもひなりぬる**よ**の心ほそさそ　二オ9
仏**の**御心**の**中はつかしけれと　二ウ2・2
心つから**の**なやましさも　二ウ4
ほうこんかう院**の**紅葉　二ウ7
かうらん**の**つまなるいは**の**うへにおりゐて　二ウ8・9
山**の**かたをみやれは　二ウ9
木々**の**紅葉　二ウ10
松にかゝれるつた**の**心**の**色も　二ウ10・10

〈源氏〉

人しれすちきりしなか**の**こと**の**葉を歌　三オ4・4
こゝろ**の**うちならんかし　三オ7
たゝいま**の**空**の**あはれに　二オ9・9
ひころ**の**をこたりをとりそへて　三オ10
筆**の**なかれも　三オ11
こと**の**葉**の**つゝきも見えす　三ウ1・2
日比**の**つらさは　三ウ4
人わろき心**の**程や　三ウ4
とふにつらさ**の**かす〳〵に歌　三ウ6
水くき**の**あと歌　三ウ7
夢**の**こゝちするにも　三ウ10
かね**の**をとも　四オ1
たゝいま**の**いのちを　四オ2
袖**の**露　四オ3
夢**の***こゝちなんしける　四オ5
むめきた**の**かた　四オ6
そのほと**の**まきれにや　四オ8
御思ひ**の**なこりも　四オ11
あはれしるこゝろ**の**ほと　四ウ1
つれなきよ**の**あはれさも文　四ウ3
うちぬるほと**の**鐘**の**ひゝきに　四ウ4・4
よ**の**つねならす　四ウ5
あたなる身**の**ゆくゑ　四ウ6
ありしなから**の**心ならましかは　四ウ7

うきたる身のとかも　四ウ8
身のうさもやるかたなく　四ウ10
ひたちのみやの御すまゐ　五オ7・7
いるかたしたふ人の御さまそ　五オ8
立よる人の御おもかけ　五ウ7
山のは　五ウ8
七日の月なりけり　五ウ8
みし夜のかきりもこよひそかし歌　五ウ9
たゝそのおりの心ちして　五ウ11
月のかけも見えすとて　六オ5
有し夢のしるしにやと　六オ8
手ならひのほんこなと　六オ11
おり〳〵のあはれしのひかたきふし〳〵を　六ウ4
こなたのあるし　六ウ6
心のおにも　七オ1
はさみはこのふた　七オ3
はこのふたにうちいれて　七オ5
火のひかり　七オ8・8
みちの国かみのかたはらに　七オ9
ともし火のひかりなれは　七オ10
筆のたちとも見えす　七オ11
はやきせのそことたに歌　七ウ3
つこもり比の月なき空に　八オ2
きた山のふもとゝいふ所なれは　八オ3・3
木の葉のかけにつきて　八オ5
山人のめにもとかめぬまゝに　八オ7
うつゝのことゝもおほえす　八オ7
にし山のふもとなれは　八オ10
さかのわたりまては　八オ11
みわたさるゝほとの道なれは　八ウ7・7
あらしの山のふもとに　八ウ8
むかへの山をみれは　八ウ10
ほうりんのまへすきぬれと　九オ1
涙のあめさへふりそひて　九オ4
伊勢のあまにもこえたり　九オ6
みやこのかたよりとおほえて　九オ8・9
かつらのさとの人ならん歌　九オ10
人のてをにけいて給か歌　九ウ5
身のありさまをたつぬれは　九ウ8
このやまのおくに歌　一〇オ2・2
なさけのふかさそ仏の御しるへにやとまて　一〇オ5
ものくるをしきものゝさまかなと歌　一〇オ6・6
かつらのさと人のなさけに　一〇オ8
人のこゝちなりけるか　一〇オ10
おもひのほかに　一〇ウ4・5
よひあか月のあかのをとたゝす　一〇ウ5
こゝかしこにせぬれいのをとなとを　一〇ウ6
とし月のつみも

ふるさとのにはもせに　一〇ウ8
ほけ三まいのみねの松かせに　一〇ウ9・9
りやうしゆせんの雲井はるかに　一〇ウ11
もしのみやまの月ならて歌　二オ2・2
よのためしにもなりぬへく　二オ5
おもひのほかに　二オ6
さすらふる身のゆくゑを　二オ7
かりの世の夢の中なるなけきはかりにも　二オ8・8・8
なかき夜のまとひをおもふに　二オ9
ゆふくれのなかめにうちそひて　二オ11
せきやるかたなきむねのうちを　二ウ2
いとゝしきなみたのもよほしになん　二ウ4
おほかたのよのなさけを　二ウ4・4
ちりくることの葉も　二ウ6
露のいのちをもかけて　二ウ6
うき世の人のつらきいつはりにさへ　二ウ7・7
ちかのしほかま歌　二ウ9
みちのくのつほのいしふみ歌　二ウ11・11・11
あめのなこりに　三オ2
雲間のゆふつく夜のかけ　三オ2・3
いつのとしにかあらん　三オ6
中川の水歌　三オ6
くれたけのうらめしからぬそのふしもなし歌　三ウ2
ことのつゐてに文　三ウ4
よのわつらはしさに文　三ウ5
けふりのちのくもをたに歌　三ウ8・8
こゝろの中はかりにて　三ウ10
をたきのちかき所にて　三オ2
くるまの中　三オ10
所のさまなれは　三ウ5
暮はつる空のけしきも　三ウ6
とふのすかこもに　三ウ8
みしかき夜半の草まくら歌　三ウ10
うたゝねのゆめ歌　三ウ11
うき世の夢も　四オ4
いさよひのひかり待いてゝ　四オ6
まとのしとみたつものもおろさす　四オ6
かきねの草に　四オ8
をく露のいのちまつまのかりのいほに歌　四オ10・10・10
笛のをと　四ウ1
露のいのちの庭のあさちふ歌　四ウ11・11・11
やむともなきゝぬたの音　五オ2
ねやちかききり〳〵すのこゑのみたれも　五オ3・3
ねさめのもよほしなれは　五オ3
ともしひのかけはかりを友として　五オ4
つきせぬ涙のしつくは　五オ5
朝夕のこと草になりぬるを　五オ7
のちのおや　五オ8

みやこの物まうてせんとて　一五オ10
ゐ中のすまゐも　一五ウ1
みやこのなこりも　一五ウ5
神な月の廿日あまりなれは　一五ウ9
あり明の光も　一五ウ10
かせのをとも　一五ウ10
いかにさすらふる身の行ゑにかと　一六オ2
せきのし水も　一六オ6
あふさかやまのやまみつは　一六オ8
あふみのくに　一六オ10
みやこの山をかへりみれは　一六オ11
みちのほと　一六ウ6
いつくの*野も山も　一六ウ7
ひなのなかちに　一六ウ10
われかのこゝちのみして　一六ウ10
みのをはりのさかひにもなりぬ　一六ウ11
河のはたにおりゐて　一七オ5
あさましけなるしつのをとも　一七オ6
みやこのかた　一七オ10
過きつる日かすのほとなさに　一七ウ1
人々の行すゑを　一七ウ2
なるみのうらのしほひかた　一七ウ7・8
あまのしわさに　一七ウ9
みやこのともにも　一八オ1

人しれぬ心の中のみ　一八オ2
いかになるみの浦なれは　一八オ3
みかはのくに　一八オ5
あたりのくさもみなかれたるころなれは　一八オ7
なりひらのあそむ　一八オ9
かのくにの中にもなりぬ　一八ウ1
はまなのうらそ　一八ウ1
波あらきしほの海路　一八ウ2
おひつゝきたる松のこたちなと　一八ウ3
おちつきところのさまをみれは　一八ウ4
いゐゐともものなかには　一八ウ6
みなとのなみ　一九オ1
この河の水　一九オ2
みやこのかたのみ　一九オ4
あらいそのなみのをとも　一九オ6・6
まくらのもとに*をちくるひゝきには　一九オ6
夢のかよひち　一九オ7
ふしの山は　一九オ11
風になひくけふりのすゑも　一九ウ1
ゆめのまへにあはれなれと　一九ウ1
こゝろのたけそ　一九ウ2
かひのしらねも　一九ウ3
しも月のすゑつかた　一九ウ4
みやこのかたよりも　一九ウ5

とりのあと　一九ウ8
ものむつかしき心のくせになん　二〇オ10
あさまのはしら歌　二〇ウ4
都をうしろにてこしおりのこゝちには　二〇ウ7
たひのほとも　二〇ウ9
ふはのせきになりて　二〇ウ11
せきもりのなつかしからぬおもゝちとりにくゝ　二一オ3
ふはのせきもり歌　二一オ6
かゝみの山もくもりて　二一オ7
ひらのたかねやひえの山なとに侍る詞　三ウ5・5
よそのなかめやかよふらん歌　三ウ7
みやこのやまに歌　三ウ8
うきあはらやのきならんと　三三オ1
たえてほとふるおほつかなさのならはぬ日かすの…　二オ8
はかなき水くきのをのつからこゝろの行たよりもや詞　二ウ2
なさけをすてぬなけのあはれはかりを　二ウ5
ゆたのたゆたにものをのみおもひくちにしはては　二オ4
　↓れいの（七例）
もとのやうにいりてふしぬれと　七ウ8
夢のやうにみをきし山ちを　八オ3
只いまのやうにおほえて　二三オ8
とりのあとのやうにかきつゝけて　一九ウ8
　↓かの・この・その
〔主格〕
ものおもふ事のなくさむにはあらねとも　一オ3
せきもりのうちぬる程をたに　一ウ2
秋のかせのうき身にしらるゝこゝろそうたてくかなし　一ウ9
ならはぬ日かすのへたつるも　二オ8
すいかいのおれのこりたるひまに　五オ6
雲かくれたりつる月のうきくもまかはすなりなから　五ウ6
仏なとの見え給つるにやとおもふに　六オ1
思ひたちぬる心のつきぬるそ…うれしかりける　六オ5
むめかえの色つきそめしはしめより　六オ10
うちとけて聞えかはしけることのつもりにけるほとも　六ウ1
ともし火の残りて心ほそき光なるに　六ウ9
はこのふたなとのほとなく手にさはるもいとうれしく　七オ1
しやうし口より火のひかりのなをほのかにみゆるに　七オ5
とのゐ人の夜ふかくかとをあけていつるならひなり…　七ウ9
ふりいてつるあめの…しほ〳〵とぬるゝほとになりぬ　八オ9
あしのゆくにまかせてはや山ふかく入なんと　八ウ5
雲のいくへともなくおりかさなりてゆくさきも見えす　八ウ8
身のぬれとをりたること伊勢のあまにもこえたり　九オ3
あまきみたちのよひあか月のあかをとたゝす　一〇ウ4
をのつからこゝろの行たよりもやとて詞　一一ウ2
かとちかくほそき川のなかれたる水のまさるにや　三オ5・5
この川に水の出たちし世　三オ7
くれ竹のたゝすこしうちなひきたるさへ　三オ11
かすかに笛のをとの聞えくるかの御あたりなりし　一四ウ1

猶うきにたへたるいのち**の**かきりありけれは　一四ウ6
なかきおもひ**の**よもすからやむともなきゝぬたの音　一五オ2
人**の**ゆくにまかせて夢ちをたとるやうにて　一六ウ8
しほかまとも**の**おもひ〳〵にゆかみたてたるすかた…一七ウ10
なりひらのあそむ**の**はる〳〵きぬとなけきけんも　一八オ9
のとかなるみつうみ**の**をちいたるけちめに　一八ウ2
しほ**の**さすときは　一九オ1
ふみとも**の**あまたあるをみれは　一九ウ5
人**の**おもふらんことゝも**の**さはかしくかたはらいた
けれは　一九ウ11・11
こよなく日かす**の**すくるもこひしきこゝちするそ　二〇ウ7
人をみやま**の**はるかならねは歌　二一オ11
山のはちかきひかり**の**ほのかにみゆるは七日の月…　五ウ7
春**の**のとやかなるに　六オ7
文かきつくるすゝり**の**ふたもせて有けるかかたはら
にみゆるを引よせて　七オ6
松かせ**の**あら〳〵しきをたのもし人にて　九オ5
こわらは**の**おなしこゑなるとものかたりする也けり　九オ7
そのころのちのおやとか**の**たのむへきことはりもあ
さからぬひとしも　一五オ8
つねにより居つるはしら**の**あら〳〵しきかなつかし
からさりつるも　二〇オ11
の（野）　〈源氏〉
いつくの*野も山もはる〳〵とゆくを　一六ウ7

のき（軒）　〈源氏〉
いとはなれまうきあはらやの**のき**ならんと　三オ1
のこ・り（残）〔四〕　〈源氏〉
ともし火の**残りて**心ほそき光なるに　六ウ9
すいかいの**おれのこりたる**ひまにたちかくるゝも　五オ6
のち（後）　〈源氏〉
きえはてんけふりの**のち**のくもをたに歌　二ウ8
そのゝちは身をうき草にあくかれし心もこりはてぬ
るにや　三オ4
のぢ（野路）　〈山家〉
あふみのくに**のち**といふところより　一六オ10
のちのおや（後親）　〈源氏〉
そのころ**のちのおや**とかのたのむへきことはりもあ
さからぬひとしも　一五オ8
のどか・なり（長閑）〔形動〕　〈源氏〉
のとかなるみつうみのをちいたるけちめに　一八ウ2
まへにはおほきなる川**のとかに**なかれたり　一八ウ11
のどやか・なる（長閑）〔形動〕　〈源氏〉
春の**のとやかなる**に何となくつもりにける手ならひ…六オ7
ののしりあ・ひ（喧合）〔四〕　〈枕〉
かしかましくおそろしきまて**ののしりあひたり**　一七オ3
のぼ・り（上）〔四〕　〈源氏〉
よろつをわすれて**いそきのほりなん**とするは　一九ウ10
これかれとさためて**のほるへき**になりぬ　二〇オ6

のぼりきた・る（上来）〔四〕
みやこの物まうてせんとて**のぼりきたる**に　一五オ10
のみ〔副助〕　〈源氏〉
我心**のみ**そかへす〳〵うらめしかりける　一オ11
たゝいひしらぬなみた**のみ**むせかへりたる　三ウ11
心つくしなること**のみ**まされは　六オ4
ゆたのたゆたにものを**のみ**おもひくちにしはては　一一オ4
よのわつらはしさにおもひなから**のみ**なん図　一三ウ5
たゝいまになりては心ほそきこと**のみ**おほかれと　一六オ3
みちすからまつかきくらす涙**のみ**さきにたちて　一六オ4
せきのし水もたえぬなみたと**のみ**思ひなされて　一六オ7
とてもかくてもね**のみ**なきかちなり　一六ウ3
われかのこゝち**のみ**してみのをはりのさかひにもな
りぬ　一六ウ11
おもひいてゝ名を**のみ**したふみやことり歌　一七ウ5
人しれぬ心の中**のみ**さま〳〵くるしくて　一八オ2
みやこのかた**のみ**恋しく　一九オ4
よるは夜すからものを**のみ**おもひつゝくる　一九オ6
おもひわひてね**のみ**なかるゝを　二〇オ4
みやこはちかき心**のみはかり**にていつるをかきりにと　三ウ2

は

は（端）　〈源氏〉
山のはちかきひかりのほのかにみゆるは　五ウ7

は（葉）　〈源氏〉
ことの葉　三オ4・三ウ1・二ウ6
木の葉のかけにつきて夢のやうにみをきし山ちを　八オ3
ふたはよりまいりなれにしかは　二ウ2

は〔係助〕　〈源氏〉
打しきる夢の通ひち**は**一夜はかりのとたえもあるまし　一ウ3
をのつからたのむる宵**は**ありしにもあらす　一ウ11
とり**は**ものかは歌　二オ2
さすかにたえぬ夢の心ち**は**ありしにかはるけちめも　二オ3
さためなきころの空のけしき**は**いとゝ袖のいとまなき　二オ6
うきふるさと**は**いとゝわすられぬるにや　二ウ11
日比のつらさ**は**みなわすられぬるも　三ウ4
いひしにたかふつらさ**は**しもありしにまさる心地する　四オ9
立よる人の御おもかけ**は**しもさとわかぬひかりにも
ならひぬへきこゝちする　五オ9
こよひ**は**つれなくてやみなまし詞　四ウ10
こよひ**は**いとさひしく物おそろしきこゝちするに詞　六ウ4
人**は**みなねぬれと　五ウ4
人**は**みな何心なくね入ぬる程に　六ウ8
人**は**みなおきさはけと　一五ウ11
人**は**こゝまておもひやはよる歌　一四ウ5
人**は**みぬへきさまなる詞　一五ウ3
しのはぬ人**は**あはれともみし歌　三三オ10
こゝもと**は**いとあやしととかむる人もあれは　八ウ2